大正九年十一月廿四日 第三種郵便物認可
康德七年 五月二十五日（昭和十五年）
新京日日新聞
（土曜日）
第六千二百四十三號 （一）

新京日日新聞
夕刊
五月二十四日
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 和波蕭
印刷人 水越內之介

獨軍、聯合軍を壓し 英佛海峽へ進擊
アラス南方の海岸線に迫る

【ロンドン廿三日發國通】英軍司令部發表
一、ベルギー戰線において獨軍はエスコー河一帶に亘つて聯合軍陣地を攻擊し來つたが、ガン西南二十キロのオードナルド附近に於てエスコー河渡河を强行した以外にすべて我軍に擊退された
一、北フランス、アラス戰線においては彼我兩軍の間に激戰が展開され我軍はアラス、バポーム間（アラス南方二十四キロ）において猛攻擊を行つた、しかしその時敵機械化部隊、裝甲車隊は右陣地の一部を突破英佛海峽海岸附近に到達するに至つた

狀況と同時に特に英空軍の敵軍連絡に對する爆擊破壞によるところ大で我空軍は敵機械化部隊に甚大な損害を與へた、即ち
一、二十二日わがフレハイム爆擊機約五十機は北フランス戰線カンブレー及びペロンヌから前進中の敵部隊を襲擊附近における避難民の存在にやゝそ の行動を妨害されつゝも多大の戰果を收めた
一、二十二日夜間わがイッドレー爆擊機五十餘機は獨領ルール地方を空襲し鐵道要衝、工場及び物資集散地等に爆擊を行つた
一、過去一日におけるわが空軍の損害は僅か七機である
一、わが戰鬪機は敵機十二機以上を擊墜した

獨軍を反擊

【パリ廿三日發國通】フランス軍司令部發表＝北フランス戰線のフランス軍は廿三日ドイツ軍を反擊してカンブレー西北方に進出し、北フランス、フランドル平原における一大戰鬪を開始した

英本土襲擊態勢
ヒ總統の命令待機

【ニューヨーク廿三日發國通】ベルギー作戰の獨軍に從軍せるA・Pベルリン支局長ルイズ・ロックナー氏は廿三日英佛海峽沿岸の某地點に到着、イギリス本土襲擊の一切の用意を終へ只ヒトラー總統の命令を待つばかりのドイツ三軍の精鋭を目擊した旨報じセンセーションを起してゐる、ロックナー氏の從軍記左の通り

記者は廿三日ドイツ軍に從つて英佛海峽沿岸の某地に到着したが、そこにはドイツの潛水艦、快速艇が集結して何時にても出動し得る用意を整へて待機してゐる、又道路には步兵、物凄い砲兵の陸軍部隊がごつた返してをりこれらは頭のてつぺんから靴の先迄準備萬端を終り、たゞヒトラー總統からイギリス襲擊の最後の命令の下るのを待機中である

パリ危機に直面
獨巨砲群の射程內に入る

【パリ廿三日發國通】ドイツ軍のソアッソン殺到によつてパリの危機は愈よ本格的なものになり、完全にドイツ軍の巨砲群の射程內に入つてしまつたので在留邦人も慌しい避難を開始した五名の日本婦人と子供達は今明日中にパリを出發することになつたが日本人理事會は廿三日在留邦人は成る可く歸國せられたしとの最後通告を發し居留民の一部は既にマルセーユ出帆の伏見丸及び箱根丸に乘るためパリを出發、藤田嗣治畫伯も廿三日夜發の汽車で歸國することになつた

獨機大編隊 英本土空襲か

【ロンドン廿三日發國通】ドイツ軍の海峽到達說と共に英本土に對するドイツ軍の活動が豫想される折柄二十三日午後ケント州東方の英佛海峽上空に獨機の大編隊の姿が見えフランス沿岸の高射砲隊がこれに猛射を浴せてゐるらしく殷々たる砲聲が潮流に乘つて聞えて來た、同時にケント州東部の各都市に四十五分間に亘り空襲警報が發せられ五十餘機の英戰鬪機が海峽に向つて急行するのが見受けられた

英軍總退却

【ベルリン廿三日發國通】廿三日信ずべき筋よりの情報によれば英軍は英佛海峽に向け一齊に退却を開始、フランス海岸數ヶ所から輸送船に乘込みつゝある模樣でドイツ空軍は機を逸せずこれを襲擊、英國に向はんとした輸送船數隻を擊沈したといはれる

ルール地方猛爆擊 英空軍發表

【ロンドン廿三日發國通】英空軍省發表、過去二十四時間獨軍の進擊はかなりその速力を弱められたがこれは敵軍の戰線維持困難なるの如し

◇…英空軍に備ふる獨逸沿岸の防空高射砲…◇

今が媾和の時期
獨軍の意氣は老大國を呑む
海軍武官 桑折少將談

ドーヴァへ！ナチス國防軍の作戰はポーランドからスカンヂナビア作戰へ目まぐるしい轉變を告げ、遂に第三打の鋭鋒はパリを衝くと見えたが、一轉ドーヴァ海峽へ、英本土へと死生のメスをつきつけてこゝに全歐洲の興亡を賭しての世紀の決戰がイッ對英佛聯合軍の決戰が豫想され「佛の單獨媾和說」に續いて「英政府の加奈陀移轉」「伊の參戰」と大戰への興味いよいよ沸るうち俄然「ナチスドーヴァを渡るか」と英本土への敵前上陸といふ歷史的の作戰が豫想されるに至つた、空軍でも英佛を束にしても劣らぬドイツだがさて海軍力ではその足許にもよれぬ力量で果して英本土敵前上陸まで發展し得るか、この回答を海軍武官府桑折少將に求めると「敵前上陸をやる、やらぬは別として不可能ではない」と左の如く語つた

第一に問題になるのは英國海軍力による制海權たドイツの十數倍といふ海軍力を持つ英國の海軍がこれを何處まで阻止するか、然しドイツの潛水艦と空軍の前には英國の海軍も相當惱まされるだらうから守る老大國と立ち上らうとする新興國家の力と意氣の相違が敵前上陸必ずしも不可能でないといふ事になる、今度の白蘭作戰に使用された兵器類はポーランド、スカンヂナビア戰線にみられない優秀なもので殊に機械化部隊落下傘部隊等ではソ聯と相當意味深い連繫があつたのではないだらうか、英本土への敵前上陸といふやうなことが行はれるとすれば勿論ドイツとしては勝負の岐路をゆくのだから潛水艦、空軍落下傘部隊の凡ゆる總力によつて新しい作戰をみせるだらう、開戰以來英國は巨大な艦隊を何處にもつて行つたか全然消息を聞かないがドーヴァ海峽に現はれゝば世界一を誇るナチス空軍と潛水艦戰術の好個の餌食になる憂は充分にある、公平なる第三者の目からみて今が媾和の時期ではないだらうか、こゝまでの戰況ではドイツに甚だ優勢だがさてイタリー、アメリカの動きによつては好むと好まざるに拘らず世界を擧げての戰爭になる興襖は甚だしく濃い、だがわが國は東亞の新體制確立を目ざして支那大陸に奮鬪してゐるのだ、對ソ問題と事變處理一本で進まねばなるまい【寫眞は桑折少將】

抗戰組織を擊碎
襄東兩次作戰の戰果

【東京發國通】今次襄東作戰は去る五月一日行動を起してより僅か二旬、この間二回に亘り支那軍を捕捉擊滅多大の戰果をあげたが作戰經過につき大本營陸軍部では廿三日大要左の如き報道部長談を發表した

今次の襄東作戰は赫々たる戰果を收め今や一段落を告げた、重慶側は日本軍は隨縣に後退し支那軍は棗陽を占領したとか、支那軍は日本軍が進めば退き退けば進む所謂速退速進の戰術をとつて日本軍戰死數萬の損害を與へたと出鱈目な放送を行つてゐるがこの度の襄東作戰は新甸舖、棗陽間の地點を舞臺として二回の包圍擊滅戰が行はれたのであつて重慶側の虛構の宣傳には苦笑を禁じ得ない、日本軍が五月一日信陽、隨縣、安陸の線より行動を起すや支那軍に退却の餘裕を與へず僅か數日にして沘源、新甸舖の線に進擊敵を腹背から包圍して卅餘萬の敵に對して第一次の包圍殲滅戰を實施、次いで新たに敵を誘ひ出すため棗陽、襄陽の線に後退を試みたところ、案の如く支那軍は北方および西方より大軍をもつてわが軍に對峙して來たので敵が棗陽北側地區に蝟集するを待ち十九日突如反轉、廿餘萬の敵大部隊を包圍再度の捕捉擊滅戰を展開、集團軍長張自忠は十六日戰死し第百七十三師長鍾毅、第百八十師長劉振三も戰死を遂げるなど正に劃期的戰果をあげたのである、しかして第一次の擊滅戰が行はれるまでのわが軍の急進の狀況は素晴らしくこの度の歐洲の戰爭でドイツ機械化部隊がセダンからソンム河口アブヴィルまで約二百五十キロを約一週間で進擊したことは所謂電擊作戰として稱讚されてゐるが、この度の襄東作戰では信陽から新甸舖まで同じく二百五十キロを日本軍の精鋭は同樣一週間で進擊しその損害も僅か三百餘名である、日本軍の進擊が如何に疾風的であるかゞ想像に難くない、要するにこの度の襄東作戰は同一部隊で再度の擊滅戰が行はれ、しかもその戰果が劃期的であつたことゝ、わが軍の進擊が疾風的であつたことが著しい特色である

【〇〇廿四日發國通】漢水東岸の襄東平原を舞臺とした五月一日より十八日に至る第一次包圍殲滅戰および十九日以後の第二次反轉進擊の作戰における戰果は敵遺棄死體捕虜の言その他を綜合した結果、交戰したる敵兵力は實に卅九個師の多數に上りその大半に再起不能の大打擊を與へたことが判明した、就中敵抗戰力の核心をなす湯恩伯、孫連仲等の中央直系軍を潰亂せしめてその抗戰組織を破壞し去つたことは今次作戰の大きな收穫であつた、敵の各兵團每に與へた戰果概要左の如し

一、第一次包圍殲滅戰（五月一日より十八日迄）孫連仲集團軍劉汝明軍二個師は雜軍の悲しさに武漢攻略戰以後常に第一線に配置され屢次に亘りわが猛擊に叩かれて戰意を失ひ、今次作戰勢頭の一擊に忽ち確山泌陽公路以北に遁走した、孫連仲軍の基幹部隊三個師は大別山系の西面抵抗線で潰滅的打擊を受けた黃琪翔集團軍は隨縣周邊において麾下三個師は徹底的に潰滅したが、特に百七十三師は唐河河畔において師長鍾毅以下戰死或は捕虜となつて全滅した、孫震集團軍五個師の中直系三個師は大洪山脈東南麓において崩壞四散し他の二個師も大打擊を受けたのち大洪山脈中に遁入して遊擊隊化し僅かに餘喘を續けてゐるに過ぎない、王纘緒集團軍はわれと交戰せるもの四、五個師で大洪山脈の複雜な地形を利しわが鋭鋒を避けて逃げ廻つてゐたが第一次作戰の後大洪山脈包圍部隊のため大打擊を受けた、張自忠集團軍は軍司令部始めほか八個師も何れも潰滅的打擊を受け軍長張自忠、參謀長張敬、百八十師長劉振三等幹部は殆ど戰死し同軍は解體の外なきみじめな狀態に陷つた湯恩伯集團軍は李仙洲軍三個師が作戰初期巧みに作戰地域外に逃避したがわが駿速なる機動部隊に前後三回に亘つて捕捉され中二個師は全く潰滅した

二、第二次反轉進擊作戰（十九日以降）湯恩伯集團軍は第一次作戰に味方の軍隊が枕をならべて擊滅されるのを卑怯にも拱手傍觀してゐたがわが軍が元態勢復歸を豫想して鉾を轉ずるやわが術策に陷つてわが反轉猛擊を浴びて麾下五ケ師は損傷七割に達する大打擊を受け百十師の如きは大別山西麓で全滅し、また湯恩伯の股肱たる十三軍司令部は八十四師とともに潰滅し辛うじて全滅を免れ新野附近に集結し得た敗敵は全員の僅か一割五分に過ぎず八十九師は行方不明となつた、漢水西岸より來援した第七十五軍の二ケ師は白河、唐河下流において渡涉不能の個所に追ひ詰められ損傷八割に達する大打擊を受けた

また同様漢水西岸より增援部隊たる第三十九軍の三ケ師も白河下流においてわが神崎以下各部隊によつて捕捉擊滅された第一次作戰で潰亂した孫連仲軍三ケ師の敗殘部隊は湯恩伯軍に督戰されその中間に挾まれて出擊し來つたがわが第二次反轉進擊に再び叩きつけられて全滅哀れをとゞめた

疾風的猛進擊
一週間に二百五十キロ

滿藝へ註文
觀覽料の値上りを防げ

市井談義

相當長い間生みの惱みを續けてゐた滿洲演藝協會も愈よ呱々の聲を擧げたといふ先づお目出度いとお祝ひを言つて置く▼滿映の映畫統制に對し、この會社が演藝統制を目標とするものなることは明かだがそれでゐて統制のトの字も言はぬところに、前車の覆轍に顧みた滿藝の賢明さがある▼即ち特殊會社とせず單なる資本金五十萬圓の營利會社としナマジ法令の力なんか借りないで實力で仕事をしようとする行き方は大いに賞めていゝ▼それと會社成立前に內地の演藝供給者たる松竹、東寶、吉本、新興、ビクター、コロムビヤ等と握手した周到なる用意は、創立者に其の人あるを思はせる▼恐らく今後滿藝が滿洲に於ける演藝興行を獨占するだらう。獨占權は持たなくとも大勢がさうなつて來るに對する寄與等々は、既に目的にも歌つてあることであり、發起者の顏觸れ、背後勢力の關係等から見ても之が第一義となることは疑ひない▼たゞ一番心配するのは、會社の機構が大きくなり人的膨脹を來し、その爲め營業費がウンと嵩んでとなりはせぬかの點である▼滿映でも最初は觀覽料の値上げを統制の目的の一として宣傳したが、事實は却つて反對に値上げとなつた▼滿藝となつたが故に觀覽料が高くなる可能性は營業費の膨脹以外にもまだある▼そこで滿藝の營業方針は市民生活と密接な關係を持つことゝなる。市井子が一言註文を出したい所以である▼演藝文化の向上、健全なる娛樂の供給、社會風致▼內地の純營利會社たる各演藝會社を株主としたことは、演藝物を供給せしむるには非常に有利な代りに時として高い物を買はされるやうな結果にならぬとは限らぬ▼滿藝が差向き劇場を持たぬことは、最大の弱味である。之が爲儲かるだけ儲けやうとする劇場側の制肘を或る程度まで受けるのはやむを得ない▼だから餘程褌を締めてかゝつて貰はぬことには、觀覽料は値上りとなり而も其の責任は滿藝が負ひ、美味い汁は他に吸はれる結果となる虞がある▼既に最近演藝、音樂方面の料金は、著しく高くなつてゐる。一寸した音樂會にも五圓、八圓と取られては、普通サラリーマンなんか手が出せない▼滿藝の誕生がこの傾向に拍車をかけぬやう、それがこの會社に對する市井子の最大の希望である。

公社債の公開
政府當局具體對策

過般新京、哈爾濱、奉天、安東で行はれた證券業者懇談會は業者側から左の如き種々示唆に富む意見が提供されたが政府、中銀所有證券の一般公開に對する要望が意外に强いことが注目されてゐる、政府當局でもかゝる民間側要望に副ふべく目下これが具體策を研究中であるが圓資金調達不圓滑化の現狀に鑑み國內資金動員の必要性が痛感されてゐる折柄これが成行きに多大の關心がよせられてゐる

紡績二割操短
窮狀に切拔け對策

國內防績諸會社では原棉手當に八方奔走中であるが、原棉滯貨狀況及び今後の原棉手當の豫想等より見て端境期たる十月迄の現行操業繼續は頗る困難な情勢にあり、これが應急對策として操業日數及び操業時間の短縮等の應急措置を講じて目下の窮狀を切り拔けようとする氣配濃厚となつて來たが急速に解決を要する問題であるため滿關兩綿聯は廿三日大連に合同部會を招集操業時間短縮問題を中心に種々協議した

今回時間短縮を行はんとする目標は既に日本においては操業時間一日十七時間制をとつてゐるに對し滿洲においてはて廿三時間制度をとつてをり、これを約六、七時間短縮し日本における同程度の時間制になさんとするもので、勞働力逃避防止の點からも操業繼續は絕對必要視され、時間短縮等を織込み、大體二割見當の操短は必至と見られるに至つた、滿洲綿業の操短率六割四分二厘五に加算すれば八割餘の驚異的高率操短率を示現し、正に操業休止の一歩手前に追込まれた譯で成行を注視されるに至た

保健科長會議
第一日所管事項示達

醫療制度の根本的整備擴充開拓地に於ける醫療施設の整備ならびに國民體育機構强化等の滿洲國國民保健衛生機能を强化すべく本年度保健行政方針を決定する全國保健科長會議第一日は廿四日午前九時より民生部講堂に於て開催

中央側大平技監、張保健司長、川上醫務、王防疫以下關係官、地方側全國十八省保健科長および關係者、その他關東軍、治安部、滿赤、滿鐵等關係各機關約七十餘名出席先づ張保健司長の訓示、大平技監の挨拶あつてのち本部關係各科長よりそれぞれ所管事項の示達を行ひ正午休憩、午後は引續き指示事項の說明ならびに省提出の質疑、希望事項につき種々協議を重ねて午後五時すぎ散會する、同會議に於ける本部指示事項左の通り

一、醫療施設計畫に關する件二、漢醫の登錄に關する件三、醫藥品の輸入及び配給に關する件四、銀パラヂュウム合金の配給に關する件五、開拓地保健衛生の指導に關する件六、開拓地衛生實態調査に關する件七、國民體育指導精神の徹底に關する件八、綜合運動場新設に關する件九、傳染病患者發生報告に關する件十、運輸機關の檢疫に關する件十一、ペスト豫防工作に關する件十二、傳染病院及び治療所建設に關する件

省次長會議
第二日

省次長會議第二日は二十四日午前九時より總務廳第一會議室に於て安東、三江、牡丹江、東安の四省次長並びに中央よりは星野總務長官以下政府關係者多數出席の下に開催、主要糧穀、集荷の促進並びに配給の調整に關し種々協議をとげた

潘傳顯氏 張總理訪問

要務を帶び入京中の華北政務委員會郵政局長潘傳顯氏は廿四日午前十時半國務院に張總理を訪ね挨拶を述べた

人事往來

▲足立長三氏（奉天鐵道總局）二十四日來京ヤマトホテル
▲正木不如丘氏（富士見高原療養所長）同新京第一ホテル
▲石黑魔治氏（協和會鞍山事務長）同三國ホテル
▲前田米吉氏（間島省土木業）同滿蒙ホテル
▲栗原宗二氏（大連土木業）同
▲中田又七郎氏（吉林銅和土木）同松屋ホテル
▲津島次郎氏（同）同
▲岩崎榮氏（著述業）同

その日〳〵

◇フランスなどは今さら問題でないといふそのことが佛には大問題であらう
◇ソ聯に焦慮の色が見えるといふ、過ぎたるは猶及ばざるが如しか
◇それにしても、レーニン今日在らば何と言ふことであらう
◇毛澤東死すといふ、彼も亂世の小英雄ではあつたと言へよう
◇朱毛紅軍、匪賊拔ひされた時代もつひこの間であつたのだが

歐洲苦悶の姿そのまゝ

領事館街の表情
思ひは遙か母國へ

刻々戰火も擴大され佛の單獨媾和、獨軍パリ東北方八十五キロに進擊等々と火を吐く外電が動亂歐洲を傳へる時、在奉天領事團の表情も移り行くヨーロッパの相貌をラヂオに外電に受取つて一喜一憂し外來者との應接にも口にこそ出さないが目、手足には刻々ありのまゝの姿が正直に戰況の變化を物語つてゐるやうだ、緊張の中にも「北京、承德に赴いて二週間の休息をとります」と自信タップリのラム獨領事、佛の單獨平和交涉の報を傳へると「それはデマでせう、信ぜられません」と額にシワを寄せ乍らも愛嬌をふり撒くジョーマン佛領事、徹宵した人のやうに顏面を神經質に動かし沈默するカーモード英領事と各國各色の表情も深刻だ

以下は各國外交團の横顏である、

獨領事館　ドイツ領事館では新綠に包まれたバルコニーに鉢植の花さへが赤色に黄色に咲誇り、どことなく戰捷國ドイツを約束されてゐるやうに館全體の空氣が新鮮だ

パリ八十五キロに迫つたんですつて!それは素晴らしいニュースだ、我々は未だ知らなかつた、ソアツソン、八十五キロ、さうですか

ラム領事は此のニュースに目を輝かして早速大きな眼鏡を出してデエアグローデベルト・アトラスといふ大地圖に見入りつつ

佛の單獨媾和については我々は平和交涉を歡迎する、併しそれが事實としても恐らく未だ外部に洩れるとは考へられないと愼重だ、それでも母國の進擊を祝福してか「二週間の休暇をとつて北京、承德に滯在します」と語る、領事館總ては軌道を進んでゐるのだと確信を持つてゐるやうだ

佛領事館　佛領事館では地圖の塗りかへでなくクリーム色に美しく官舍の塗りかへ最中だつたが、ジヤーマン總領事が氣持良く接しやうとする應接振りや愛嬌はフランスの國民性かも知れないが却つて憂色を蔽ひかくすやうにも見える

單獨媾和條約……イタリー紙の報道ですか、プロパカンダです、英佛間の關係より見てそんな事は全然ありません

ソアッソン獨軍進擊の話を持出すと

ソアッソン、イエスイエス知つてゐます、然し事實はどうか未だ判りませんよ、先日ドイツはアントワープ占領を十五日も早く發表した例もあるやうに……

と半信半疑の中にも漸く憂色濃く口をつぐむ

英領事館　一方英國カーモード領事は特徴的な吊り上つた眉毛の下に落ちついた目を大きく開いて次のやうに語つた

戰爭當初からドイツはフランスとの平和交涉を結ばんといろいろ劃策してゐるやうです、然しそれが實現する事はあり得ないと思ひます、第一次戰の折同樣ドイツは進擊してゐます、そして聯合軍は再び反擊の機會を待つてゐます、かゝる際の平和交涉は我々としては考へられない、フランスは前大戰の時もボルドー・ニースへ遷都した、遷都そのものはそんなに驚くべき事ではないのです、況んや未だその事實もない今日……

香も高し!日蒙交驩の花束

平和歸りし郷土
遺族部隊に感謝の宴

ノモンハン事件遺族部隊に對するホロンバイル全蒙古人の根深い感謝の念を表して長途異鄕の旅愁を慰める遺族部隊感謝の夕は廿三日午後六時から海拉爾商工俱樂部前庭廣場で開催された定刻興安北省長額爾欽巴圖氏並びに第十軍管區司令官烏爾金中將はじめ折柄旗長會議出席中の六旗長等が遺族部隊の到着するを遲しと待ち受ける、やがて滿洲里視察を終へて午後五時卅分着列車で歸海した遺族部隊一行が午後六時半商工俱樂部前庭に姿を現し定めの席に着くや額省長から

われらの鄕土ホロンバイルを護つて下さつた皇軍御遺族の方々がお出で下さつたことを厚くお禮申上げます、皆樣が日本に歸られましたならばわれわれ蒙古民族は今日本軍の御庇護のもとに極めて平和に生業にいそしんでをり、日本のためならば喜んで生命を捧げると決意してゐるといふことをお傳へ下さい

との挨拶をなし、次いで服も綾に着飾つた興安北省民生科長彭楚氏令孃第一國高生徒スルンさん(一五)とお友達のバルジマ(一二)さんの二少女が今朝札蘭屯からついたばかりのみづみづしい蒙古民衆のシンボルたる草原に咲いた香も高い鈴蘭、ねぢあやめ、野菊その他高山植物の花籠に黑リボンをつけて本城遺族部隊代表に贈呈、續いて第二國民優級學校生徒トミンタイ君(一三)から童心に映じた蒙古少年のありのまゝの感想を流暢な日本語で

皆さん方はノモンハン事件でホロンバイルの野や河で勇しく戰つて死なれた兵隊さん方のお父さんやお兄さん方と聞きました、こんな遠いところまでよく來て下さいました有うございます、騷しかつたホロンバイルの草原には今草を喰む羊や牛の群がふえました、私達もノモンハン事件の頃とは異つて今は樂しく愉快に勉强してゐます、これも皆兵隊さん方のお蔭です、私達は日本の兵隊さんが大好きです、そして軍歌が好きです、時々學校に遊びにきました兵隊さんから軍歌を習ひました、私達は軍歌を習ひながらホロンバイルを護つて下さいました兵隊さんの血の流れてゐるホロンバイルをどこまでも護つてゆきたいと思ひますホロンバイルで死なれた兵隊さんのことを何時までも忘れないで成吉思汗に負けないやうな立派な人にならうと思ひます、そして日本へ歸られたらホロンバイルの子供達はこゝで戰死された兵隊さんのことを忘れないでゐるとお傳へ下さい、さようなら

との感謝文を朗讀すれば一同肅然として頷く、續いて遺族代表からこれに對する謝辭あり、さらに額省長の「偉勳永へに輝く」烏將軍の「最上の努力によつて實

學窓の映畫獻上
御訪日待つ留學生

【東京發國通】在京九百餘名の留日滿洲國學生達は滿洲國皇帝陛下の御訪日を心からお待ち申し上げてゐるが、この指導監督に當つてゐる留日學生會館では眞摯な學生達の日常勉學の姿をフイルムに收め、その名も「興亞の希望」と題して皇帝陛下御滯京の御砌獻上して御旅情を御慰め申し上げることゝなつた

在京留學生は小石川の留日學生會館に男子百五十餘名、牛込若松町の牛込寮に女子四十餘名、この外入學々校の寄宿舍等に男子六百五十餘名、女子八十餘名があり何れも將來滿洲國の中堅となる學徒だけに孜々として勉學してゐるが「興亞の希望」は學生會館を中心に九百餘名の全學生の日常の全貌を餘すところなく收めたもので

第一卷は學生大會篇で莊嚴な滿洲國歌に始まり御容奉戴式、日滿學生交驩の夕、體育、學藝大會などを收め第二卷は女子部篇で女子會館落成式、日滿女學生の集ひ、女子學藝會、第三卷は修練篇で八ケ岳や靜岡縣靜浦の夏季訓練、內原の冬季訓練、富士山麓の修練から成つてゐて既に撮影を終り目下錄音を急いでゐる

安藝五ッ 大關推薦

【東京發國通】昭和十五年夏場所十四勝一敗の好成績を收め堂々優勝の榮えを擔つた關脇安藝海と十三勝二敗の好成績を擧げた張出し關脇五ッ島の兩力士に對し廿四日開かれた昭和十六年春場所新番附編成會議に大關推薦の議が提出され滿場一致で兩力士の大關推薦を可決した【寫眞は千秋樂優勝盃を手にした安藝ノ海】

本社主催 淨月潭探勝會
盛況期待・申込殺到

本社主催淨月潭探勝會は初夏の淨月潭湖畔に寶探し、婦人子供運動會等の餘興を加へて來る二十六日(日曜日)午前九時市公署橫集合午前九時半出發するが、ハイキング日和に誘はれて申込者續々殺到して早くも定員に滿たんとしてゐる、當日はなほ實物人探し懸賞等の面白き催し等もあるので興趣また格別なものがある、御參加御希望者は定員にならぬうち早く本社事業部(電三―三三〇〇)迄御申込下さい、尙當日の新京觀光協會發定期淨月潭行きバスは運行しない

民生部次長事務引繼　中央地方の交流異動により民生部次長から間島省長に榮轉した神吉正一氏と奉天省次長から民生部次長に榮轉した土肥顓氏との事務引繼は廿四日午前十一時から同次長室に於て行はれた【寫眞は新次長土肥氏(右)舊次長神吉氏(左)】

名案はないか　(九)　住宅難打開の鍵は?

大戰後の獨逸はこんな風にした
在獨二十五年の人 老川茂信氏談

街の話題となつた住宅難打開の鍵に應へて起つた次の人は獨逸系のオットー・ウォルフ新京支店に勤められる老川茂信氏、氏は人も知る明治三十六年より大正十五年まで約廿五年の長きに亘つて獨逸の首都ベルリンに居留された人で第一次大戰の際も當時日本の敵たりし獨逸に敢然踏みとゞまつた經歷の持主である、在獨中は居留邦人の父として慕はれた人德の人で戰時經濟の權威であるが、この人が語る「大戰後獨逸が行つた住宅難の解決法」はそのまゝ滿洲國に適用することは無理であらうか、もつて他山の石となすことは出來るであらう、以下氏の話を聞く

獨逸は第一次世界大戰前既に工業勞働者の急速な增加に依つて住宅難に惱んでゐた、それが大戰の結果一層激化した、即ち戰爭中新しい住宅が建たなかつた上に戰後植民地から多くの獨逸人が歸つて來るし割讓地からは官吏や追放された人達が歸つて來たからである、其上外國人までが澤山入りこんで來た、しかもマルクの下落は新しい建築を行はせなかつた、この爲獨逸政府は住宅難問題に直面して困却した、があくまで獨逸式に處理しようと先づ住宅不足法を公布して必要な處分を規定した、しかしこの實施は聯邦諸國に委任した、この法令に依ると居室はすべて强制經濟に服するのであつて、市町村はこれに

必要な命令を出す權限を附與された、先づ日本年に依ると大正七年十月十日までに住む目的に定められた住宅はすべて他の目的に使用することを禁じ使用されぬ室は市町村が占領權を持つことにした、應急手當の一つとしては制限外の餘分の部屋を持つ者の家へは他人を割込ませる手段をとつた、この際如何なる家族が同居に來ても斷ることが出來ないことになつてゐて、もし他の家族の同居を欲せざる場合はそれだけの室を新たに建築するだけの費用を提供すると强制的割込を免除された、勿論この住宅の强制經濟は新しい住宅の建築が進むにつれて漸次

解除されて行つたのである、さうした新しい建築に對しては政府から資金を供與した、この一つとしてプロシアでは建築を奬勵する爲に家賃稅の一部を利用した、その外獨逸政府では借家人を保護する目的で家主の權利を制限するとか、家賃仲裁局を有する借家人保護に關する特別の立法とか、或は家賃を法律で確定するとか種々の方法を講じた、その他實際上の問題として平時人間の居住を許さなかつた地下室とか屋根裏でも一時人間の住む事を許し、當時家屋の高さを幾階までと制限してあつたのを一時停止して、新たに室を造る場合は可及的既存家屋の上へ建增することを奬勵したのである、これは勿論經濟上の理由から來たもので、また

空地に一時的のバラックを建てたり、汽車の古い車を引出したり都會の周圍に多い市民農園內の小屋を擴張して、これに住むことを許可する等あらゆる手段を盡して住宅難の緩和を圖つたのである

軍用犬用の米は協會支部が配給
愛犬家の心配解消

戰場に於て軍馬と共に物言はぬ戰士として目ざましき活躍を續けてゐる軍用犬の重要性がます〳〵高く叫ばれてゐるとき日本內地の軍用犬が優秀種犬の爲替管理の障壁にさへぎられて輸入の途が絕えたのと物資節約のため著しく體力智力が低下してきたので、協會長香月淸司中將は「盡忠の死を遂げて來た彼等の兄弟が食糧問題の犧牲になるなんてそんな犬死はないだらう」と政府當局に對し爲替管理の緩和と軍犬の家族待遇を提げて陳情に起つたが滿洲においても六月一日からの米穀通帳制を控へ協會會員の中には今後の食糧問題につき少からず氣をもんでゐるが、軍犬協會新京支部では「折角こゝまで築きあげて來た軍犬熱を踏みにじられてたまるものか」と敢然起つて當局と折衝の結果各會員希望者には申込次第公定價格にて支部より配給することに決定した

を結んだ不滅の榮光」と墨痕も鮮かに記した蒙古文の書一幅を遺族に贈呈し午後七時感謝の夕を終了、次いで一同打揃つて現地軍當局の招宴に臨んだ、この宴會にはホロンバイル土產の牛乳で造つた蒙古酒や蒙古菓子が贈られ異鄕にある遺族部隊一行に一入の感興を添へたなほ廿四日は鄕土部隊慰問のため一部は齊々哈爾に向ひ他は海拉爾の鄕土部隊を慰問、廿五日哈爾濱に向ふ

滿洲の邦人は新しい生活を
語る正木不如丘氏

富士見高原療養所々長として特殊な結核療養を試み、又文學者としてユニークな小說、隨筆等を發表、日本醫學界、文學界兩方面に活躍中の正木不如丘博士は滿鮮視察旅行の途次、滿鐵の招聘に應じて來京、滯在中を訪問して滿洲の初印象を訊いてみる「今度の旅行は別に目的があつた譯ではありません、まあ視察旅行とでも云ひますか」と博士は眼鏡越しに微笑みながら靜かに語り出す

滿洲は始めてですから直感的なことしか云へませんが、豫想してゐた滿洲よりもずつと違つた感じを受け取りました一口に云へば耕かされ過ぎてゐると云つた印象で、こちらに來るまでは鐵道沿線はともかく奧地までこんなに立派に耕作されてゐやうとは思ひませんでした、滿洲は豐かな感じですね、この印象は新京から鴨綠江を越えて安東に入るとはつきりと區別されてまるで生活程度や文化程度が問題にならないやうに思はれました―あまり滿洲を賞め過ぎたから少しは惡口を云ひませうかね、それはね、日本人の生活樣式があまりに日本內地の延長であり過ぎると云ふことです生活程度を落すと云ふ意味ではなくもつと滿洲に適合した生活樣式を創り出したらいいでせうがね例へば冬の滿洲の生活は寒いと云つて部屋の中に閉ぢ籠つてゐるやうではは指導民族としてどうでせうか?富士見の療養所等は零下三十度位に氣溫は低下するのですが、患者達は南の窓を明けつ放して生活してゐます、このことを思へば滿洲でも石炭をどん〳〵焚いて惡い空氣の中で一日過すのはどうかと思ひますね、他にもまだ色々生活の改善の道があらうと思ひます

于濱江省長

濱江省長于鏡濤氏は二十四日午前八時十分新京驛發列車で非公式に赴任した、同氏は事務引繼の後廿七日の海軍記念日行事を濟ませて同夜歸京、廿八、九日頃姜全我新警察總監と事務引繼をなし正式赴任は來月二日である

稻葉建大教授

建國大學教授文學博士稻葉岩吉氏はかねて病氣療養中のところ廿三日午前十時十分膽囊炎を併發し新京天慶街二〇一の自宅で逝去した享年六十五

博士は君山と號し新潟縣岩船郡村上本町一三八六の出身全くの獨學勉勵の結果今日を築き上げた人で日露戰爭には陸軍通譯として從軍、勳六等單光旭日章を賜はり大正五年四月山口高商講師囑託、同年五月陸大支那歷史講師を兼任、大正十年朝鮮總督府修史官を拜命、朝鮮史編纂委員の一員として活躍、その間昭和七年六月東洋史の研究により學位を得、康德四年建大創立委員の一人として來滿、建大創立に非常な盡力を拂ひ引續き教授として東洋史を講義してゐたもので、昨年度から大同學院教授を兼任してゐた著作としては「滿洲發達史」「滿洲國史通論」「近世支那史講話」等があり東洋史特に滿洲、朝鮮史では世界的な學者として知られてゐる

告別式は建大主齋神式にて廿六日午後一時から協和會館で執行される

松木大將逝去

【東京發國通】豫備陸軍大將松木直亮氏は去月來慶應病院で胃腸病療養中のところ廿三日午後逝去した、享年六十五、同大將は山口縣出身、明治卅一年陸軍士官學校卒業、本省整備局長、第十四師團長等を歷任滿洲事變には上海始め北滿に轉戰勇名を轟かし昭和九年四月豫備役となつた

あす(廿五日)

- △東亞競技大會滿洲國代表激勵壯行會　於大同公園午後一時
- △動物慰靈祭　於衛生技術廠午後一時半
- △全國保健科長會議第二日　於民生部午前九時
- △靑訓入所式　於首都本部午前十時より
- △鷄林協和懇談會　於首都本部午後四時より
- △商工相談所會合　於國防會館午後二時より
- △土地開發會社會合　於國防會館正午より
- △國婦鐵北寬城子分會陸軍病院慰問　午後一時より
- △藤原義江公演會　於西廣場俱樂部午後一時並に午後七時二回
- △生活必需品會社打合會　於商工公會午前十時より

再發淋病と熱
淋菌は四十度以上の熱に依り速に死滅す　ワレンチ博士が「內服藥に殺菌力なし」

と發表して以來東京の本研究所に於て種々の難關を克服して始めて玆に電熱を取入れ理想的且完全無比なる物理應用の特許熱療機を考案しさしもの難病も見事解決の鍵を握り治療醫學士に一大足跡を殘し得たるは本研究所の誇りとする所なり

從來彼方此方に有る熱療機より一歩進んだ特殊裝置により如何なる難性でも四五日にて血膿を止め輕症なれば一日にて膿を止め短時日にてしかも何等苦痛副作用なく全快の運びとなり又再發の憂無く容易に全治するものなり今迄多くの費用を內服藥や注射に使ひ果しても尙治らず御困りの方は速に本機を使用せられ亡國病だる淋菌を撲滅せられ非常時國民の責任を全されん事を召集や結婚を目前に控へ淋病に惱む方は是非効果の適確な本機に依られよ

發賣元　東京市芝區二本榎木町一五

祝町ミスニッポンがカフェー大陸と名を改めた、そして元大新京に或は雅壽園にと國都一流のカフェーにマネーヂャーとし敏腕を揮つた小林秀男君が管理する事となつた、小林君にとつては正に本懐と言ふべきである、君が實力を發揮するのは之からだ、ネオン街は益す多忙の折柄一段の自重を望みカフェー大陸の發展を祈る▼落ついた店として特殊の風格を備へ動かぬ人氣を博してゐるカフェー精養軒にこの程東都から麗人部隊がどつと入店した、ターキー、ジミーもそのメンバーである、彼女達は廿二日からデビユーまだホヤホヤなんです▼ターキー君は北海道旭川の生れ、芳紀二十二歳水の江ターキーにあやからうと言ふのでターキーと名附けたのか知ら、すつきりした苅上げ斷髮の姿體はさうも感じられる、だが彼女は言ふ「妾ターキーつて呼ばれても人ごとのやうでわかんないの…だつてターキーなんて妾の附た名ぢやあないんだもの」▼彼女は東京銀座バーミモザに居た、此道の經驗はチヨツピリと言ふ「ポートワインをちよつぴ飲まりされてポーとしてしまつた」ポートワインにはポーとして了ふターキーではあるがビールには決してポーとしないことを附言してをく▼眞に明るい感じの女である、さすが東京仕込み、明朗さが周圍に光つてゐる▼ジミー君もターキー君と同じく東京銀座バーぢやぢや馬から來たまだ二十歳『城内をはじめて見物したの、隨分穢ない街ね』國都城内に對する彼女の初印象である、ターキーとは變つてしとやかな感じのする女性である、二人とも惡ずれのした女給さん達に見る事の出來ない新鮮さと明朗さがある、彼女達のサービスはビールの價値をぐつと高めること受け請ひ、まだ褒めてをいてもよからう、そのうち朱に交つてくるかどうかは保證の限りでない

滿洲演藝協會 愈よ店びらき
廿九日設立披露宴

弘報宣傳陣の一翼として國內各民族各階層に對し健全なる娛樂を提供するとゝもに面目一新した滿洲國演藝文化の創造を目指す株式會社滿洲演藝協會設立の議は昨秋來各方面有識者の贊同を得て着々その成立準備を進め、旣に資本金五十萬圓も全額拂込まれたので、愈よ廿九日午後六時半よりヤマトホテルに於て設立披露宴を張ることになつた

同協會は定款から見ても內面組成は確然たる特殊會社であつて國外（主として日本及び支那）から輸入の演劇その他の演藝を精査嚴選しこれを調節して營業者に配給又は自ら上演興行するほか從來採算上の立場から顧みられなかつた僻遠地域の上演興行や慰安義捐の興行を豐富にし、國內における演劇の向上發達、進んでは滿洲國劇その他の滿洲的演藝の創造を圖るなど民族協和の立場から文化交流を圖つて感情方面から理解を促進させ、政治工作の裏付けをしようと云ふ國策會社の建前をとり滿系を對象に各地區に應じた娛樂を配給するほか、日系に對しては母國を離れた滿洲生活に健全な潤ひを與へようといふのである

蒙古民族の血 映畫通じ純化
滿映で惡病闘滅映畫製作

東亞民族の一翼として興亞の大業に馳せ參ずる蒙古族は現在二百萬を數へながらその四分の一の五十萬人が性病菌保持者であるといふ恥しい狀態でこれを放置すればやがては民族自滅の悲運に陷るであらうと識者間で早くから憂慮されてゐるが滿洲國でもこれが對策を緊急事として去る康德五年七月滿洲醫大學生及び新京醫大卒業生十五名を五班にわけ調査を行つたところ黴毒反應者は平均三十二パーセントの高率を示し特に興安北省の如きは六十パーセントに及ぶといふ業患者が氾濫する目もあてられぬ慘狀だつたため蒙古民族驅黴工作計畫を樹立早急な本格的對策に乘り出してゐるこれが第一着手として民生部では滿映に委囑して黴毒豫防映畫「民族の敵」を製作、蒙古民衆の蒙を啓くこととなりすでに脚本も脱稿六月初旬から新人島田太一氏監督のもとに撮影を開始するがこれにより蒙系の黴毒への自覺を啓蒙する一方漸次醫療制度の設立、蒙古人醫師養成所設置、性教育の普及などの驅黴運動の徹底を期し以て明朗純潔な蒙古民族の確立による遠く七百年前の成吉思汗の血の覺醒を促し興亞民族の興隆に一層の貢獻を期待されてゐる

△維納の花嫁△

獨トビス映畫「モナ・リザの失踪」「別れの曲」等のゲツア・フオン・ボルヴアリーの監督作品でウイリイ・フオルストとリリー・バリーが共演してゐるが、製作年代は前記二作より古い、ワルター・ライシユの脚本、ウイリー・ゴールドベルガー撮影、ロバート・シユトルツ音樂といふボヴアリトを加へて當時の四人組のオペレツタで、十人の顧問官令孃と維納の伊達男の甘い華やかな交渉を描いたもので相當愉しめさうな外貌は備へてゐる、豐樂劇場廿四日封切

雜音

帝キネの「格子なき牢獄」、長春座の豐劇の「曉に祈る」愈よけふから登場、帝キネは一本立だが、長春座は京都作品「維新子守唄」と實演「初夏交響樂」が入り、豐劇にはお古だが封切の「維納の花嫁」が加はる▼後者二館の添物は夫々特徴を見せてゐて面白く、長春座の無理なショウは掛け持ちの副產物と見られる▼新キネの「仇討交響樂」と「都會の新裝」の入り、後へ轟夕起子の來演を控へてゐるせゐか餘り活潑な入りではない、土曜、日曜日に跨つてゐる實演の日取りに盛返しが見られやう▼こゝの鹿野支配人が好きな酒を暫く絕つことにしたといふ、飲んでゐる時はいゝが冷め際の氣持が惡いからだといふ、そんなら一そ冷めないやうにしよつ中飲んでをればいいといへば、そもさう、もともと鹿野酒盃（支配）人つていひますからネ

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三―二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠　編輯人 和波黛　印刷人 水越内之介

皇帝陛下御召艦 軍艦日向と決定
警備驅逐艦に朝雲

【東京發國通】海軍省廿四日午前十一時公表 滿洲國皇帝陛下御訪日の際における御召艦は軍艦日向（艦長原田清一大佐）警備驅逐艦は朝雲（司令新美和貴大佐、驅逐艦長脇田喜一郎中佐）と定められ、なほ警護兼儀禮艦として大連に榧、鳩、横濱に沖島、峰雲、大阪に球磨を配備せらるゝ豫定なり

御訪日御巡路
聖峰高千穗沖を御通航 御歸路は御東征コース

【東京發國通】紀元二千六百年御慶祝のため滿洲國皇帝陛下には來る六月廿六日青葉薫る日本に御來訪遊ばされることになつたが、御召艦は軍艦日向、御警衛は驅逐艦朝雲とそれぞれ決定 廿四日海軍省から公表された、皇帝陛下には側近を隨へさせられ、大連埠頭より先づ御警衛艦朝雲に召され同港港外にて御召艦日向に御移乘、神武天皇の御遺蹟をしのばせられる思召により海路九州南端を御通航、遙かに高千穗の聖峰を仰がせられさらに紀州附近より熊野附近を望ませられ同廿六日横濱港に御入港あらせられ、御歸途に際しては大阪埠頭より同樣朝雲に御乘艦同港港外にて日向に御移乘神武大帝御東征のコースを逆に瀬戸内海を御航海遊ばされ御歸國遊ばされることになつてゐるが、特に日向を御選び申上げたのは皇帝陛下の紀元二千六百年御慶祝の思召を體し、神武天皇御發祥の地に因んだものである

御對面に御通譯 奉仕者決定

【東京發國通】滿洲國皇帝陛下には光輝ある紀元二千六百年を御慶祝のため愈よ來る六月廿六日御召艦日向にて横濱御入港、御來朝あらせられるが、天皇、皇后兩陛下ならびに皇太后陛下に晴れの御對面に際し奉仕する御通譯は滿洲支那語の御通譯を申上げてゐる岩村成允御用掛と共に大使館二等書記官原田龍一氏が奉仕することゝなり、廿四日原田氏に對し左の如く式部職御用掛を仰付られた

大使館二等書記官 原田龍一
式部職御用掛被仰付

原田御用掛は曩に昭和十年皇帝陛下御來訪のみぎりも御用掛として天皇陛下に御通譯申上げ、又岩村御用掛は皇后陛下に御通譯を奉仕し日滿兩國皇室の御交驩を目の邊りに拜して恐懼感激したのであつたが、光榮の兩氏は重ねての奉仕に感泣してゐる

光榮の供奉
星野長官謹話

皇帝陛下御訪日に際し光榮の扈從を拜した星野總務長官は廿三日列席中の協和會中央本部定例委員會で感激の語調も強く次のやうに謹話した【寫眞は星野長官】

光榮の扈從員を仰付けられたゞ恐懼感激に堪へぬ この上は一重に御旅程のつゝがなきことを祈り奉ると共に至誠以て供奉申上げるのみである

光榮の扈從員

皇帝陛下の御訪日に關しては政府並びに御訪日籌備委員會において愼重に御準備申し上げてゐるが、光榮の扈從員廿五名並びに扈從事務員及び內廷職員廿四名がこの程正式決定、廿四日午後三時政府から次の如く發表された、なほ扈從員の外に帝室御用掛りとして關東軍吉岡少將が隨行する、扈從員の氏名左の如し

宮內府大臣 熙洽
侍從武官長 張海鵬
總務長官 星野直樹
宮內府次長 鹿兒島虎雄
外務局長官 韋煥章
宮內府顧問官 荒井靜雄
同侍衛處長 工藤忠
侍從武官 曹秉森
宮內府侍醫 徐思允
同侍衛官 金智元
同秘書官 劉傑三
同總務處長 小原二三夫
總務廳參事官 木田清
同秘書官兼理事官 崔正儒
宮內府囑託（協和會中央本部實踐部長） 曲秉善
同禮官 吉田忠太郎
將軍副官 王連城
宮內府理事官
同 陳懋侗
同 岡本武德
尚書府秘書官 石川衛
宮內府繙譯官 恒潤
總務廳秘書官 道滿三郎
同 玉城進
外務局秘書官 山本茂三
德田秀彥

重ねての恩命
御通譯奉仕に感激

【東京發國通】滿洲國皇帝陛下の御訪日に際し御通譯係として再び奉仕することになつた岩村成允氏は宮內省御用掛を勤務する傍ら明治大學で支那事情、支那現代文化等に教鞭をとり昭和十年滿洲國皇帝陛下第一回の御訪日に際しても御通譯申上げた人、同氏は滿洲國皇帝陛下が御位に御即きになる以前北京で馮玉祥のクーデターの際北京日本公使館に難を御避けになつた時代から北京公使館二等書記官として親しく御通譯を奉仕してゐた、廿四日恰度明大の授業を終へた岩村氏は同校で感激しつつ左の如く謹んで語つた

今回重ねて御通譯奉仕の恩命にあづかり唯々感激して居ります、滿洲國皇帝陛下には御日常の御修養ばかりでなく文化方面の御造詣深く殊に御名筆にあらせらるゝことは有名なことで、私が陛下にお目にかかつたのは非常に古くからで今回の大役も皇帝陛下の御言葉ばかりでなく陛下の御心、御溫情までも深く御推察申上げ御通譯申上げ、この大役を無事済ましたいと願つて居ります

軍艦日向の威容
原田艦長は典型的武人

【東京發國通】滿洲國皇帝陛下御訪日の光榮ある御召艦となつた日本海軍の精鋭戰艦日向は大正四年三菱長崎造船所で起工同七年竣工したもので、日本超弩級艦扶桑、山城、伊勢の姉妹艦で、その性能は長さ一九五米七、幅二八米七、排水量二九、九九〇トン、卅六糎砲十二門、十四糎砲十八門、十三糎砲十七門、高角砲八門、水雷發射管四門を裝備し廿三ノットの速力を出す世界有數の主力艦である、なほ御召艦の光榮を添うした日向艦長原田清一大佐は岩手縣の出身、明治四十四年海軍兵學校卒業、大正四年少尉に任官、同十三年少佐となり軍艦富士の副官、昭和十二年十一月大本營海軍部報道課長となり、わが渡洋空襲、陸戰隊の活動その他戰爭遂行の各種報道任務に盡し、同十三年出雲艦長に轉じ、同十四年日向艦長に榮轉した、本年五十一歳の典型的武人である【寫眞は軍艦日向海軍武官府許可濟】

軍援產業會社
二十七日創立

武勳輝く傷痍軍人に新しい職場を提供し、產業戰線の花形として更生の途をあたへるため滿系實業家達によつて計畫中の軍援產業株式會社（資本金二百萬圓、四分ノ一拂込）設立については去月以來新京特別市東三道街許公館內に假事務所を設け資金調達其他準備工作中であつたが、軍、治安部、協和會及び新京、奉天、哈爾濱の各軍事援護會の全面的な支持を得たので、來る廿七日午後二時から商工公會々議室で創立總會を開催することゝなつた、當社第一期事業としては先づ印刷工場を市內に設立、各關係官廳の印刷物を一手に引受けることゝなり出來るだけ早く操業を開始する

三千萬圓の社債成立す

【門司發國通】社債問題のため一ヶ月に亘り滯京中であつた滿拓總裁坪上貞二氏は廿四日正午門司出帆の日滿連絡船鴨綠丸で歸任したが、船中左の如く語つた

二千萬圓の社債成立に成功した、これは主として本年度に二萬戶移住並に一千人の靑少年義勇軍の開拓基金に充當されるものである、開拓物資は物動計畫に多少の不便があるが、現地調辨でやつて行く、本年入滿する滿洲建設勤勞奉仕隊に一千町步を充て八ケ所を開拓し玉蜀黍、高粱等飼料の栽培に從事するが、第一期を開拓植付、第二期を除草、收穫と分けて進み滿洲開拓の一助に努めるつもりである

商工公會兩理事

商工公會では加藤前三井物產新京支店長の大阪支店榮轉及び王子衡理事の辭任に伴ふ後任理事の人選中であつたが二十四日左の二氏が就任した

△橫濱正金銀行新京支店長 大村哲太郎
△益發銀行經理 李墨林

外務省辭令

【東京發國通】外務辭令廿四日左の如く發令

外務書記官兼遞信書記官 井口貞夫
任大使館一等書記官兼領事 米國在勤を命ず（大使館一等書記官として）ニューヨーク在勤を命ず（領事として）
總領事兼大使館一等書記官 堀公一
任外務書記官情報部第一課長を命ず
領事兼大使館三等書記官 福島愼太郎
免兼官 領事 ロサンゼルス在勤を命ず 福島愼太郎

臺灣總督府 內務局長更迭

【東京發國通】臺灣總督府內務局長山縣三郎氏の栃木縣知事轉出に伴ふ異動は二十四日の閣議で左の如く決定した

任內務局長 臺南州知事 西井龍猪
任臺南州知事 新竹州知事 一番瀨雄
任新竹州知事 拓務省拓務局南米課長 宮木廣大

農業政策に即應
交易檢查制を革新

興農合作社本年度活動方針を決定するについては交易場運營方針の決定が先決問題であり蒐貨、收買、販賣購買とも關聯し延いては農業政策にも影響するため交易場設置、運營策定は農業政策に於ける當面の緊急課題として注目せられるところであるが、蒐貨方針檢査制度に關しては左の方針がとられるものと見られる

蒐貨方針 糧棧機構は「商」觀念の是正に重點を置き從來の如き個人的營利のみを追求するものは極力排除し、國家的組織體として活動せしめるため糧棧を組織化して中間機關として活用し嚴格なる許可制度を以て臨み、交易場に出廻りたる糧穀のみを取扱はしめてこれを糧穀統制會社に販賣せしめることにするが地方農民は興農合作社の斡旋の下に交易場を通じて直接統制會社との取引をなし得るやうにし、かくして二元的收買機構をとるものと見られる

檢査制度 農產物檢査は現在輸出檢査たる國營檢査と單なる生產檢査たる交易檢査との二本建を執つてゐるが、これは經濟的にも技術的にも矛盾を含むところ多く大勢としては現在の制度を改正して國營檢査一本で進む方針に大體意見の一致を見てゐる、然し現實の問題としては

一、特產中央會より如何なる形態方針により國營檢査所を切り離すかこれは政府滿鐵間に於いて研究中であり、從來の關係特に檢査員の配屬等の問題を繞り早急の實現は困難な情勢にある

一、現在の交易場檢査の國營檢査制度への轉換は檢査規格の點等より現在の檢査員の技術的向上を圖らねばならず人員の不足補充に困難がある

等の問題が介在し交易場問題と關聯してこれを直ちに國營檢査として一元化することは頗る困難な情勢にあり、暫定的措置として檢査所のみを切離し現在の如き檢査形態をとり、檢査員の養成、規格統一等に主力が傾注されるものと豫想されてゐる

日滿伊經濟協定
日滿側の委員決定

【ローマ廿三日發國通】訪伊使節の主要目的の一たる日滿伊三國貿易關係の强化に關する經濟協定交渉は二十二日行はれた豫備交渉の結果、廿四日午後四時からローマ大學で初總會を開催日本側代表佐藤團長、滿洲側代表三城代理公使出席、初顏合をなした後、双方交渉委員の選任を行ひ、二十五日委員會に移り來月上旬佐藤、三城、チアノ三國代表により新協定の調印を見ることゝなつた、日滿側委員顏觸左の如し

日本側首席委員 井上通商局第四課長、原書記官、池田繙譯官
滿洲國側首席 三城參事官、委員 國府津貿易科長、糸賀書記官

なほイタリー側委員は未だ決定してゐないが、通商局次官マルカ伯首席委員となり貿易、爲替兩局から委員を選出するやうである

敵匪團を潰滅
壯烈日高警尉の奮戰

日軍と協力西南部國境地區肅清中の喀喇沁左旗大城子遊擊隊は去る廿二日午前四時頃匪首仁義軍の率ゐる約卅餘名の匪團が對面溝附近に蟠居中との報に日高警尉を隊長とする遊擊隊が同日午後二時折柄の豪雨を衝いて勇躍出動、大城子東南方八キロ對面溝北端部落に至り、同部落周圍の山頂に布陣し降りしきる豪雨と泥濘とを冒して攻擊を開始、日高警尉は陣頭に起つて敵陣に殺到奮戰中不幸敵彈は同警尉の頭部を貫通壯烈無比の戰死を遂げた、本戰鬪における戰果、敵遺棄死體十、拳銃、彈藥若干を鹵獲した

米軍事更改豫算案
十四億餘弗

【ワシントン廿三日發國通】歐洲戰局の急展開に米國の軍擴熱は最高潮に達してゐる折柄米國上院は廿三日總額十四億七千三百七十五萬六千弗（邦貨換算六十三億六千萬圓）に上る未曾有の更改豫算案を滿場一致可決直ちに下院に廻付した右豫算は十億百萬弗の本豫算と今回ルーズヴェルト大統領特別國防教書によつて新たに追加された四億七千二百萬弗の緊急國防費とから成り立つてゐる

晉南地區掃蕩
隨所に敗敵を殲滅

【太原二十四日發國通】晉南地區におけるその後の討伐狀況左の如し

一、笠原部隊は廿一日天井關西北方五キロの東嶺口および槊川村、治底村附近の敵を擊滅した、周村鎭南方においても大野部隊と協力し七十一軍の五千を覆滅した
二、笠原部隊は廿一日天井關南方八キロの草底舗附近にて百五十の敵を擊滅し、また黃道頭附近にても敵の三百を潰滅した
三、西田部隊は廿一日高平東南方の莒山附近および高平東北方に急進せる敵をそれぞれ擊破した
四、中島、佐藤、富永の各部隊は廿日芽津渡北方地區に現れた百七十七師四十七旅の五百を擊滅した
五、重松部隊は二十日夏縣東方山地にて十二師の一個團を南北より包圍擊滅した
六、聞喜東方十五キロの蔡村においては二百九十八師の一部が同地附近警備のわが部隊に擊滅された
七、荒木部隊は廿日絳縣東北地區にて十五軍に屬する百九十、百九十五團を擊破した
八、江口部隊は廿三日陽城周邊地區にて十四軍の八十三、八十五兩師を南方に潰走せしめた

湖口南方の殘敵を殲滅

【湖口廿三日發國通】湖口南方山岳地帶に蟠居する敵に對し巧妙なる包圍網を壓縮したわが上住、志摩、三崎、檜山、渡邊、井上、深堀、織田、道家の諸部隊は廿二日午後より猛烈な最後の殲滅戰に移り廿三日朝も引續き猛攻擊を加へてゐる、敵は周章狼狽その極に達し山地に部落に捕捉殲滅され該地區の敵第百四十七、百四十八の兩師は完膚なきまでに打ちのめされた、わが軍はこゝに所期の目的を達成多大の戰果を收めて今次肅清戰を終へた、綜合戰果左の如し

遺棄死體 四百廿、捕虜 九十五、鹵獲品 迫擊砲一、同彈藥八百、機關銃四、小銃百九十五、同彈藥二萬、その他武器彈藥多數

從化北側の蠢動を殲滅

【廣東廿三日發國通】從化北側に蠢動の敵を殲滅したわが精鋭部隊はさらに從化東北方高地の敵據點に對し廿二日拂曉を期し行動を開始し、同夕刻完全にこれを捕捉殲滅した

金使用更に制限
地金讓渡を許可制
新規則公布

政府はさきに產金確保のため日本に呼應して獎勵金制度を設けると共に產金買上法を改正して金店の營業許可制を實施したが、今回更に不要不急事業への金の散逸使用を制限するため廿五日經濟部令を以て金使用規則を公布六月一日より施行することになつた、同規則の骨子左の如し

一、金箔、金絲、金粉又は金液は當分の內左の各號に揭ぐる用途に供することを禁止す
（イ）屛風、襖と額緣其の他表裝用
（ロ）天金、金文字、裝幀その他製本用
（ハ）看板、標札その他廣告用
（ニ）金字文、金緣、金散しその他印刷用
（ホ）金文字、商標その他標識用

一、金を用ひたる製品（金箔、金絲、金粉、金液及これ等を用ひたる製品並に金鍍金を施したる製品を除く）にしてその品位千分の三百七十六を超ゆるものは當分これを製造することを禁止す、但し工業用、醫療用のものは

一、當分の內物の加工又は修繕の爲品位千分の三百七十六を超ゆる金地金を使用することを禁止す

一、金店が金地金を一般民衆に讓渡するに際しては省長又は新京特別市長の許可を要す

獨軍今後の目標
打倒英國を期す
獨官邊代辯者豪語

【ベルリン二十三日發國通】ベルギー及び北佛における獨軍無敵の進擊はドイツ國民を熱狂せしめてゐるがドイツ官邊スポークスマンは廿三日ドイツ今後の目標は

一、聯合軍の潰滅
二、フランスの降伏
三、英國の屈服

にあるが、獨佛媾和は斷じて戰爭の終結を意味せず、ドイツは飽くまでも打倒英國を期するものであるとつぎの如く豪語した

ヒトラー總統は今後フランスがドイツに對し單獨媾和を申入れることはあり得ることゝ信じてゐるこれに續くものは佛海岸よりする大々的の英本土襲擊であり、かくてドイツ側の指示する媾和條件を英國に押しつけることが可能とならう、しかしてヒトラー總統の當面の目標としては

一、ベルギー及び北フランス方面において包圍した英佛白聯合軍百萬を殲滅する
一、フランスの降伏を促進する
一、ドイツ軍は指示條件により英國と媾和する

の三點に要約される、何れにしても獨軍は英本土に對する大規模な襲擊を敢行する前に先づ袋の鼠となつた聯合軍を擊滅する心算である

しかしてドイツは若しフランスが單獨に降伏して來たとしても英國がドイツ側の條件に基く媾和を受諾するまでは戰爭が完全に終了したものとは見做し得ない、ドイツが如何にしてかかる英國の屈服を餘儀なくせしめるかはベルギーにおける聯合軍を殲滅した直後に展開さるべき戰鬪の新段階において明白に示されるであらう、なほ獨軍が英佛海峽を支配した曉には、空中からと同時に海上からの對英進入も當然考慮されやう

社説　樂觀と悲觀

歐洲戰局の情勢が今日のやうになる少し以前には、大戰の側で相當な樂觀論が唱へられてゐたことを想ふと、甚だ興味があるのである。[illegible]

重大危局に感懷
海洋への發展は日本の宿命
聖戰下輝く海軍記念日（上）

[illegible]

……られつゝ瀬戸内海の地方を治められ更に之から日本海に出られ隱岐島等を平定し豐葦原瑞穗國を構成する所謂大八洲を歸服せしめられた素盞嗚尊も韓國と往來して彼地に植民し韓國の多くの金銀を採取しこれをわが國に運搬するために特別な船材（杉樟）をもつて造船せられた。わが民族が波濤を海外に渡航したのはこれが初めてであるといはれ、更にわが國の建國の際にも神武天皇が御東遷し給うた事實によつてもこれは明白な事實とせられる。即ち甲寅歳十月五日水軍を率ゐられて日向國を發せられ速吸門を經て筑紫國兎狹（筑前遠賀郡蘆屋町とも云はれる）に一ヶ年止まらせられそれから更に戰備を整へさせられて海上を御東進阿岐國多邪理宮（廣島市附近といはれる）に七年間軍を留めさせられ後更に東進して吉備の高島宮に八ヶ年（三年ともいはれる）滯留せられそこでその地方を平定せられつつ前進の準備を完了せられてから更に軍を東に進め浪速を經て大和に入らせられんとしたが長髓彦等に妨げられ再び舟師を率ゐて熊野より御上陸長髓彦及び土蜘蛛等を征伐せられ附近一帶を平定せられて畝傍山の東南橿原の地に皇居を定めさせられたのである。

この神武天皇の御東遷に關し詳細な點については史家の間に一致を見ないが天皇が水軍によつて御東遷を實行し給うた點については全く疑ふ餘地のない事實であつてこれをもつて見てもわが國は國家の建設そのものが專ら海洋の利用によつて成し遂げられたものであることが分る、この點から考へるならばわが國民の海洋利用海洋への發展は一の宿命とさへ見られる。建國から約五百年間は海上に於ての我國民の活躍についての記錄を缺くためにその狀態を確めることを得ないが海軍は漸次に發達して朝鮮支那との間の交通が開かれてゐたことは想像に難くない。仲哀天皇の八年熊襲が叛いたのも當時の朝鮮がこれを後援したためであり神功皇后が三韓征伐を決行せられたのはこの三韓の後援を除くための拔本塞源の意味で行はれたものである。これらの事實からして當時水師を率ゐて遠く朝鮮に進攻し得る狀態にまで既に海洋の利用が發達してゐたことを知り得る、即ち神功皇后の水軍は肥前松浦から進發して對馬國和珥津に寄港せられ順風を待つて一擧慶尚道の東北部に上陸し新羅軍を擊破して國王を降伏させ更にその餘威を驅つて隣國の高句麗及び百濟をも歸順せしめられたのである、わが國の海洋利用は一段と進歩を遂げた、第十五代應神天皇の御代には造船にも非常な進歩があり天皇は新羅の船匠に命じて大船を造らしめ給ひまた國内にも造船を奬勵せられた、當時わが國で造られた最大なものとしては陸奧國（伊豆ともいはれる）石城造船所で造られた長さ十丈に及ぶものがあつた、當時のこの巨船は「疾く行くこと馳するが如し」といふので枯野（又は輕野）と命名せられた、これがわが國で船に命名した最初であるといはれる

第三十七代齊明天皇の御代には阿部比羅夫が舟師二百餘艘を率ゐて蝦夷に遠征しその後第四十三代元明天皇第四十五代聖武天皇の御時代にも航海、造船に見るべきものがあつた、殊に第四十七代淳仁天皇の御代には再び朝鮮遠征の計畫のもとに兵五萬七百人、子弟二百二人、水手一萬六千四百八十八人、戰艦三百九十九艘を整へさせ給うたことをもつても當時の海軍の狀況を窺ふことが出來る、しかし天皇の御雄圖は果されずしてて位を去り給うた、この時代からわが國の海權は漸次に衰微したのである、即ち皇紀千四百年頃までが海軍の漸進期をなし第四十八代稱德天皇から第百代後小松天皇まで約六百五十年間は日本の海權は餘り振はなかつた

しかしこの間に於ても支那及び朝鮮との交通は維持されてゐたので推古天皇十五年七月（皇紀一二六七年）聖德太子が遣隋使を派遣せられてから次帝舒明天皇二年（一二九〇年）の第一回の遣唐使節等わが國から使節を派するのみならず支那人、朝鮮人等の來朝によつてかの地の文物制度はわが國に輸入せられわが國の文化に至大な影響が及ぼされたのである、この時代は内では藤原氏全盛の時代であつてむしろ惰弱の風が漲りそのために積極的な海外への發展が阻まれたのであつた、しかしてこのためにかの神功皇后の三韓征伐以來の朝鮮に於けるわが國の地歩は完全に失はれてしまつた、足利氏の中葉即ち後小松天皇の時代から人皇第百九代明正天皇の時代國内では德川の三代家光が將軍となり寛永十三年に日本人の海外渡航を禁止するまでがわれ〳〵の祖先が海洋民族としての面目をよく發揮した時代であつた

この期間に於てわが國民の海洋を通じての痛快な活躍として少くとも二つのものを擧げることが出來るであらう、その一は秀吉によつて決行せられた朝鮮征伐である、秀吉の朝鮮征伐の動機については諸家の意見は一致しないやうであるがそれは兎も角として秀吉のこの快擧は途中秀吉の薨去に遭ひ華々しい結果を收め得なかつたが後世國民の意氣を鼓舞したことは多大である、秀吉の雄圖は實に東洋及び南洋の征服にあつたことは史實の證するところである、天正二十年六月の頃朝鮮支那征伐の宣言を發した時の朱印狀の中に「處女の如き大明國を誅伐するは山の卵を壓するが如くなるべきものなり啻に大明國のみならず況んやまた天竺南蠻もかくの如くなるべし」といつてゐるこれは秀吉が根もない大言を吐いたものでなくかれの胸中には遠征の準備及び實行方法についての計畫が確立せられてゐたのであるといふ彼の死はこれらのすべての計畫を畫餠に歸せしめて惜しみても餘りあることであるがその意氣の壯なる點はわれ〳〵國民の學ぶべきことである

然し秀吉征韓の壯圖について海上權の問題として重視すべき事項があるそれは征韓役不成功の一大原因が水軍の不振に因つたことは史實の證明するところであつて千古の教訓を貽すものである、秀吉の壯圖に亞いでわれ〳〵に快哉を叫ばしむるものに倭寇があるわが建長年間即ち皇紀千九百十四年頃から永祿七年頃にかけ徒手空拳輕舟を御して萬里の波濤を乘り切り朝鮮沿岸はもとより支那沿岸北は山東から南は福建浙江廣東に至る數千里に亘りに荒れ廻り遂には所謂嘉靖の大擾亂まで惹き起しその餘勢を驅つて澳門まで進出しポルトガル人と一戰を交へたほどである、秀吉の征韓にしても倭寇にしてもともにわが海國民の傳統的海洋發展の雄圖を窺知するに充分であるが他面この國民の意氣と努力を活用する爲政者の政策換言すれば國民の海外發展を助成援助する國力を缺くときは何等國家的發展の實があがらぬことである

第一の場合に於て秀吉に海上權に對する觀念があり第二の場合に國家的に統一したる國策を伴つたならば歷史は大いに變つてゐたであらうし徒らな武勇傳のみに止まらず國家的海外發展の何等かの事跡を後世に貽し得たであらう德川太平三百年の鎖國は我が國の海外發展を著しく阻止したが、二千五百年來培はれて來た海洋民族としての意氣には些かの支障を來さず近代戰術と新兵器をもつて國家總動員のもと最初の對外大海戰に大捷を博して帝國海軍の武威を發揚したのが明治廿七八年日清戰役に於ける黄海大海戰である、その後十年明治三十七八年日露戰役に於ける日本海々戰の大捷は遂に世界第一帝國海軍の名を擅にするに至つたのである

滿洲への投資は日本内地へ還元
開發資金計畫討論
日滿・經濟懇談會

【東京發國通】日滿經濟懇談會金融分科會は[illegible]

……よるべくこのため金融機關の整備をとが必要と思ふ、日滿關係資金調整ても兩國の經濟、野を明かにし内地調達を行ふ際には捨する分野に限り睨み合せて計畫の圖らねばならぬ、なし、引つづき津[illegible]總裁より「最近の經濟事情」實來興り「社債の現狀に富田滿洲興銀總裁近の滿洲國經濟事て」大久保正金頭外國に於ける爲替事情」海上滿洲中銀理事より「滿洲國幣の狀況について」岡林住友銀行事務から「内地銀行の滿洲進出促進を提唱す」と題してそれぞれ演説あり、奉天商工公會長石田武亥氏の「滿洲投資を活潑ならしめる具體的方策」と題する演説を最後として同六時散會、而して同分科會席上に於ては滿洲國產業開發資金調達問題が當然中心議題として取上げられ内地側としては

一、最近の金融逼調並に物資需給關係から見て生產力擴充資金の需要は日滿を通じて一層調整せらるべく起債界としても從來の大量起債主義より轉換して起債内容の嚴選を徹底せしめる

二、從つて本年度起債額は昨年の實績に比し縮減せしめるべきで、滿洲國關係の起債については通貨の價値維持、信用確保の見地に至つてこれが調整を行ふべきである

三、然も最近滿洲國の資金蓄積は相當顯著であるが今後これを一層積極化するとゝもに起債市場の育成を圖り漸次開發資金の現地調辨を考究せられたい

一、滿洲最近の開發資金の殆んど全部を日本内地側に仰いで居るが如き誤解があり昨年を例にとれば開發資金總額二十八億圓中滿洲國で賄つた額は十七億六千萬圓、日本の對滿投資は約十億六千萬圓で現地調辨は約三分の二に上つて居る

二、しかも日本の對滿投資は結局日本より供給すべき資材の代金として日本内地に還元して居る、この還元自體から滿洲でインフレが起きて居ると考へるのは誤解である

三、滿人は貯蓄心乏しきため金融資金の貯蓄も急速には期待し得ない、滿人の證券投資について種々方策を練つて居るがこれ亦急速な展開は望み得ず從つて現地調辨に一定の限界が存する

四、滿洲國自體としても經濟開發の重點化を決定する意向であるが日滿物動計畫により決定せらるべきものについてはこれが資材の獲得に必要なる内資金は萬難を排して調達の道を講ぜられたい

と内地側の對滿投資圓滑化を要望した

國府答禮使　[illegible]使一行は二十一[illegible]臨み親善交歡を[illegible]記念撮影】

對日輸入品の關税撤廢は早尚
＝商業貿易分科會の質疑＝

【東京發國通】日滿經濟懇談會商業貿易分科會は廿三日午後一時より帝國ホテルに開催安宅大阪商工會議所會頭座長となり東商理事柔原幹根氏より日滿支物資交流の圓滑化を圖るため日滿支物價統制協議會、日滿支物資統制協議會ともいふべき日滿合同の新機關設置について提案あり、これに對し安田日滿實業協會滿洲理事長より

物價問題は今後共激化の趨勢にあるので右提案に贊成である

と述べ又三井物產常務取締役太田靜男氏も右協議會設置案を支持、島本企畫院第五部事務官よりは「日滿支統制經濟上當を得たものである」と政府側の態度を明かにした、次に同問題に對し滿洲國より山梨經濟部商務司長より

日滿一體の物價政策をとつてゐるが支那を含む物價、物資對策は俄かに確立し難いと思はれるので實質的效果を擧げるためまづ日滿を一體として行くのが妥當と考へる

と滿洲國側の意見を開陳、次いで三菱商事取締役會長田中完三氏より

日滿支物資交流不圓滑化を調整するため日滿物價の緊密な關係性を持たせる事並に滿洲大豆の出廻り促進を圖るためその公定價格の撤廢

を主張し次いで圓ブロック向け物資交流の現狀是正に關し奉天商工公會副會長方煌恩氏より「日滿間物資交流を圓滑化することの急務」次いで日滿實業組合聯合會會長中野金二郎氏より物資交流の圓滑ならびに物價統制に資する具體策として滿洲國において對日貿易會社を設立しプール平準價格確保の下に對日輸出入を調整しては如何

と提案したがこれに對し滿洲國の山梨商務司長は

日本物資統制は充分滿洲に浸徹底せず公定價格では中々品物が手に入らない、他面滿洲の物價はこれが滿洲の國内事情によるものかどうかを考慮して欲しい、今後は滿洲に入る物資については日本の公定價格の延長を見て貰ひたい、滿洲國としても努めて國内の物價を日本の公定價格に近接せしめることに力をつくしてゐる

と述べ次いで滿洲國の對日大豆、豆粕等の供給確保に關し豐年製油會社杉山社長より

滿洲大豆の統制は滿洲に即さない、國策上よりも官民合同の統制委員會を設置大豆の出廻り促進を圖りたい

との提案あり、大連油房組合事務理事吉田吉次氏より

「大豆專管統制實施以來の實績」について説明がありこれに對し竹内對滿事務局庶務課長より「滿洲國に於ける味噌、醬油の原料について最低限度の手當がついた」と述べ、次いで大豆の出廻りの方法とその對策について向坊專管公社理事長より

今年度の大豆生產高は大體二百萬瓲、このうち四月迄に百三十萬瓲が出廻つて今後の出廻り狀況によつては強制買收をなすことも考へてゐる、なほ將來の對策としては生活必需品を安く農民に供給することによつて出廻りを促進したいと考へるが公定價格は現在の價格かよいか惡いかは別としてこれを變更することは愼重に考へなければならぬ

次いで日滿間通關制度改正について加藤哈爾濱商工公會副會長より

一、對日輸入品の關税免除
一、保税倉庫の増設
一、特定品に對する關税上の特典について

の質問があり、これに對し山梨商務司長より

一、關税撤廢については財源並に國内產業の見地から未だその時期でない
一、特定品に對する特典を認めることは檢討を要する
一、保税倉庫の増設については今年は牡丹江に設けたが來年は佳木斯に増設したい豫定である

と答辯あり同四時散會

鑛工業分科會

【東京發國通】日滿經濟懇談會第二日目の鐵工業分會は廿三日午前十時帝國ホテルに開催、石炭聯合會々長松本健次郎氏を座長に推し滿洲國企畫處參事官横山龍一氏より滿洲における輕工業の一般概況殊に產業開發五ヶ年計畫三年たる昨年度の實績につき

鐵は計畫目標に對し八割石炭は九割、アルミニユームは殆んど十割に近い成績を擧げ、又電力は火力發電については九割七分を示した、水力電氣については鴨綠江並に鏡泊湖等において明年度よりそれぞれ發電を開始する豫定で更に液體燃料についてはオイルセールの方は昨年來擴張工事が完成したので本年から相當増加の見込みであるが石炭液化の方は重點主義により積極的擴充を圖ることとした、なほ阜新においては天然石油については今月十二日に至り天然原油の採掘を見るに至つた

旨を述べ次いで三菱重工業會長斯波孝四郎氏より日滿における重要基礎產業の分野について意見を述べると共に當面の方針を質し、又日鐵社長中松眞京氏より當面の日滿鐵鑛問題について現在の生產計畫遂行上如何なる點が重要なるかを具體的に檢討し

兩者有無相通ずる機構は直ちに實行に移したい

と述べ、昭和石炭社長古田慶三氏より石炭統制につき意見の開陳があり續いて三井鑛山第三課長大谷壽雄氏より滿洲國における人造石油事業の詳細につき説明あつてのち企畫院山田調査官より

日滿を通ずる鐵、石炭、機械工業その他の増產計畫は再檢討を要する時代となつたが今後更に重點主義を決定しなければならぬ

と述べ次いで横山參事官は斯波氏の質問に對し

滿洲國における產業建設については極力自力でやつて行く方針であり、資金並に資材の問題についても日本と充分協議の上計畫を進めたい

と答へたが大谷氏の質問に對しては

滿洲國における人造石油事業計畫の實現が遲延してゐることは増產目標を變更したのではないか

と答へた、次いで橋本商工省人造石油課長より

人造石油の滿洲國及び日本の生產目標並に分野は大體決定してゐる、然し實行に着手して見ると建設資材の問題や國防の見地から是正すべき點があり近き將來において計畫を更改すべき必要がある

と述べ次いで

一、滿洲における輕工業を振興すべき件
一、中小工業對滿移駐に關する件

につき津田紡聯會長より輕工業とその資源對策就中紡績並に纖維工業等その原料供給問題に關して意見の開陳があり又哈爾濱商工公會副會長加藤明氏より中小雜工業對滿移駐常設委員會設置の提案があり、引續き滿洲國大阪駐在名譽領事江崎利一氏より中小商工業の對滿移駐につき又哈爾濱商工公會參事徐貞大氏より滿洲における食糧品工業設置につきそれぞれ内地側の協力を要望したのに對し商工省妹川振興部長より

限られた資材を各方面に配給しなければならぬ關係上滿洲側の要望を全面的に容れることは差當つて困難であるが今後共生活必需品、食糧品工場移駐については大いに努力する

旨を答へ午後零時二十五分散會

間島省内の地下資源拓く
鑛發會社で調査

間島省地下資源に對する官民の關心は漸次昂揚しつつあり綜合的大開發會社設立が要望されてゐる折柄滿洲鑛發會社が大々的に省内における鑛床及地質の調査を開始し目下和龍、安圖、汪[illegible]の縣下の調査を遂行中で來る七月上旬までには一應調査を完了する筈である右調査の結果鑛發會社の間島資源開發事業への積構的方途が樹立されることは必至と見られ一大朗報として現地官民を欣ばせてゐる

なほ調査班は二班に分れ一班は佐藤純三、松田enson[illegible]藏、須田貫二、助田[illegible]の四氏で和龍縣南下洞土山子爾炭彩秀嶺（クローム鐵鑛）八道江延和（金銅鑛）朝陽鑛山（銅鑛）及び汪淸縣百草溝[illegible]鑛山（銅鑛）の踏査を實施し他の一班は佐藤晉三、海老原昌同、木村利生、佐々木康美の四氏で安圖縣下におけるアンチモニー、油母頁岩、石灰の鑛床及地質を調査して居り結果は大いに期待されてゐる

土建協會定款
本月中に決定

廿三日發會式を擧行した滿洲土木建築業協會は既に會長には田邊松太郎中將、理事長に榊谷前土建協會長の就任を決定してゐるが、その組織、内容については未だ決定を見てをらぬため二十三日の發會式の席上大島前土建協會常務理事以下約二十名の準備委員を任命、政府において作製したる定款草案を基礎に廿四日より準備委員會を開催、新土建協會定款、豫算、賦課金問題等について審議、役員決定、職制を行ひ今月中には最後的決定を見る豫定になつてゐる

尚今回の滿洲土建協會の統制團體としての新發足によつて關東州側土建業者との關係は滿洲國内に事務所を有するものを除き、關東州側は別個に任意組合たる關東州土木建築實業組合を結成、滿洲側とは分離される形になるが滿洲國側の土建統制方針については可及的に協力する事となつてゐる

開發に調査
蒙疆の寶庫

【張家口廿三日發國通】眠れる蒙疆の地下資源に下す科學の觸手、北支開發會社の臨時蒙疆調査隊第二班はこのほど張家口における出發準備を完了したので廿四日午後五時五分發大同行列車で〇〇方面に向け寶庫探査の壯途についた

印度政府の輸入許可制
折衝方訓電

【東京發國通】印度政府は去る十九日絹織物ならびに陶磁器その他一般雜貨類六十八品目につき輸入許可制を實施する旨發表したが、右輸入許可制の運用如何によつてはわが對印度貿易に甚大な影響を及ぼすものがあるので外務當局ではこれを重視し近く若松カルカツタ總領事に訓電を發し右許可品目に該當する本邦品についてはその輸入許可に當り適切妥當なる取計らひをなす樣印度政府に對し折衝せしめることになつた

北山娘々祭

吉林が全滿に誇る北山娘々祭は六月一日から五日間盛大に擧行される、今年は鐵道側が積極的旅客誘致を避けてゐるので遠距離の參詣人は幾分減少するが、急激なる人口増加を示してゐる近郊からは約四十萬人近い人出が豫想される

海軍辭令

【東京發國通】海軍省廿三日午後三時發表　五月廿一日左の通り補職せられたり

補海軍航空技術廠長　海軍少將　和田操

略歷　今回新に海軍航空技術廠長に補せられた和田少將は三重縣出身、本年五十一歳、第四十四回海軍兵學校卒業、昭和十二年少將に昇進、その間廣工廠海軍本部々員、航空本部技術本部長歷任、わが國航空機研究の權威である

商況　二十三日後場

各地株式市況

▲大連株式（短期）

銘柄			
新東	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]

手形交換高（二十三日）　二〇五枚　[illegible]

家庭

玉露の出殻で焙じ茶

お客様に出した玉露など極く上等のお茶は出殻をよく乾燥して保存しておき、これを焙じ茶として用ひればお茶漬の場合など大へん美味しく戴けます

蝕れ行くチューリップの國和蘭陀

海よりも陸の低い國、そこに碁盤目の運河が通じ、風車が立ち、チューリップの花が咲きそして牧場が廣々とひろがつてまんま……るい赤いチーズが來る國、そしてまた目元のうるんだしなやかな娘がまつ白いかぶり物に紅紫の色も鮮かな裳を映えさせつゝ……サボーを穿いてたゝずむオランダの國―この國はまた日本の文化とロマンスとの爲に四百年來のあこがれであつた國でもある

古い歴史と矜り　この國の奥床しさ

今 回のドイツ進の擊によつて脆くも潰え去り、女皇ウヰルヘルミーナはロンドンに遁れられ、政府もまたこゝに移轉されたのであるが、嘗ての昔、七つの海に雄飛した古い歴史と矜りを持つ國柄だけに、われわれにも新たな感慨がないとは云へない、獨蘭の交戰酣な頃前線に向ふフランス兵士にオランダの女がチューリップの花を投げ與へたなど、この國は古くから奥ゆかしさと夢を育くんで來たかのやうである、オリンピックで知られたアムステルダム―ここはもと

十三世紀の初葉アムス

テル公ギスブレヒト二世が城を築いたのに起り、當時は海灣の一孤島で濕地であつたが運河を開いて商港の體を整へるに至つた、ますます繁榮し、十六世紀の末にはヨーロッパ隨一の重要港市となつた、次いで十七世紀に入つてからは東インド會社の創立と平和條約の締結とは相俟つてこの港をヨーロッパ最大の商業都市たらしむるに至つた、然し十八世紀の末には米國の獨立戰爭に際し、英國に抗してオランダ艦隊の大部分を失ひ更にナポレオンの

大陸封鎖の厄に遭って

商業上の大打擊を蒙つてから急激に頽勢に向つたのである、然しその後潴々運河を開鑿し港灣を浚渫し今や再び北歐の一重要港としてドイツのハンブルグ、ベルギーのアントワープなどと相伍して重要な國際港となつてゐたのである、首都ヘーグは南のゼーランドと北のゾイデル・ゼーとの中間にあつて美しく明るくにぎやかな住むべき都であつた、こゝは昔オランダ伯の狩獵地であつて、オランダ語で「伯爵家の領地」と呼ばれる、人口は約四十萬、繪畫館があり、中世時代の宏壯な建築物があり、王宮、博物館、劇場等巍々として天を壓し、外觀の整備と内部の美しさが渾然としたハーモニーをなしてゐる

惠まれた國　運河と菩提樹の都

ロ ッテルダムは人口五十二萬、商港としてアムステルダムを凌駕する勢にあつた、市街は水で賑ひ、風致に富んだステージエル運河はあまりに有名である、運河と云へばオランダか、オランダの運河かと云はれるくらゐどこへ行つても水また水の國である、水あれば木あり

樹蔭を流る水面の美さ

は格別である菩提樹の並木がどこの都市にも鬱蒼と茂つて趣きのある快適さは羨望に値するものがある、惠まれた國の幸福さ―然しこれらはみな過去の美しいシルエットの裡に葬り去られ樣としてゐるのだ、氣候は暖流の影響を受けて概して溫和であるが海風が濕氣を持つて來るので霧の日が多いやうだ、耕地面積は全土の四分の一を占め、麥類、甜菜、亞麻等が栽培せられ特に園藝が盛なので球根の輸出が多い、人口密度はベルギーについで世界第二位、國民は概して勤勉で堅忍不拔の精神に富んでゐる、本國に六十倍する植民地を持ち

商船の數も充分以上

あつて世界海運界に重要な位置を占めてゐた、日本の鎖國時代にもこの國の船舶のみが訪れて西洋文明を傳へ、醫學、博物學、地理等の知識を啓發するところが尠くなかつたのである。思へば今から二十五年前の第一次世界大戰には超然と戰火を免れたヨーロッパの平和境は今やナチスの電擊戰の犧牲となつて、次第に戰禍の底に沈んで行き、亡國の悲運は見る者をして切々たる感慨を懷かしめるのである

狂亂する嵐の中に平和

の象徴の如き風車の翼は折れ、チューリップの花は無慘にも蹂躪され、ウイルヘルミーナ女皇の嘆きこそ深刻なものがあらう、オレンヂ王家のモットーであつた「私は主張す」の言葉は今後如何なる運命を擔はされるだらうか

（寫眞上右より　アムステルダム市風車、四通する運河、ロッテルダム市、オランダ農民親子）

殿方！　背廣には之位の御注意を

▲……毎日ブラシをかけることは勿論ですが、五日目か七日目ごとに輕くたゝいて埃を出し、濡タオルを當てゝアイロンを掛けます、すると縫目の中の垢が蒸氣に吸ひとられて綺麗になります

▲……このお手入を怠らずしますとクリーニングに出す必要がありません

▲……背とか肱が擦れて光るやうになつたものは、先づブラシで塵や埃を拂ひ、水とアンモニヤ水とを等分に混ぜて霧吹に入れ、擦れて光つた部分に吹きかけ、その跡にアイロンをかけますと綺麗にそれが消えます

殿方の洋服の出來不出來はズボンを一目見ればわかるといはれる位ズボンは洋服の生命ですから仕立や着こなしに餘程注意を要します

・・・・・・假縫の時に注意する點・・・・・・仕立は洋服屋さんの仕事ですが、素人が假縫の時に注意しなくてはならない要點は、中央に通つてゐる折目で、これは兩方とも中心よりも幾分内側に入つてゐる事が大切です、もし反對に外側に外れてゐると脚が曲つて見え全體の姿が非常にだらしなくなります

・・・・・・次はズボンを固定する方法・・・・・・です、假縫のときはゴルフその他のアウトスポーツ用のズボンを除いては大抵サスペンダーで吊つて形を整へます、いくら形よく出來たものでもバンドでは形がくづれてしまひます、しかし腹のしまりをつけるためにどうしてもバンドが欲しいと云ふ方はズボンの内側にバンドを締める樣にするといゝのです

・・・・・・サスペンダー・・・・・・を吊る場合　次にサスペンダーを吊るボタンの位置ですが、これは單に吊る役目だけでなくその場所によつては脚の線や腹の脚の缺點をうまくかくす事が出來ます、正しい位置に力がかかつてゐると、はき心地もよく、形もくづれませんが、ボタンの一寸とした工合で、折角仕立のいいズボンもいゝ線が出ない事があります

料理獻立

さゞえの壺燒き

さゞえ五個は生のまゝ殼から出して洗ひ薄き切り貝も洗ひ、三ッ葉五錢位を一寸五分長さ、慈姑三個は皮を剝き一分厚さに切つて茹で銀杏十五個を煎つて皮を剝き、なるとは十切を用意し椎茸五個を戻して薄味とし以上を殼に詰め割りしたを入れて燒きます、割したは味淋大匙二杯、出汁一合、醤油大匙三杯半、砂糖小匙二杯、味の素少しを加へて出します（五人前）

蛤の時雨煮

材料ハマグリ二十五個、酒大匙三杯、醤油大匙二杯、ショウガ少々（五人前）

作り方　剝き蛤を鹽水で洗つて酒、醤油にショウガをきざんだものを入れて煮ます火が通つたらハマグリを上げて汁を煮詰めて後再び入れて汁をからませます

家庭メモ　卵の殼と辛子粉利用

▼……糠味噌に虫がわいたらもう手のほどこし樣もありませんしそんな不手際をやるやうでは糠漬を作る資格はありません、ところが、一週に一度の割で辛子粉を盃一杯まぜてかきまはしておけば決してあの厭な虫がわきません

マッチ不足にはこんな御用意　蠟も使ひやう

此頃 のマッチ不足のその上にマッチが濕つたりしては、それこそどこの家庭でも困ることで、ピクニックやキャンプのときは尚更です、こんな場合の準備としてパラフインまたは

蠟燭 の屑を集めてお茶碗に入れその中にマッチの棒をちよつと浸し、引きあげて乾かすと薄い蠟のフイルムが表面を覆ひますから、濕氣には絶對安全で、燐があるため軸木の燃えもよくなります

蠟の代りにワックスをうすくしたものでも同樣ですが、何れもうすい皮膜が出來ますから、マッチをする時少し強く丁寧にこすつて下さい

雨も これもキャンプ等でテントの防水性が局部的に失はれ漏り等のある場合はテントの乾いた時その場所に蠟燭をこすり込み、その表面を熱湯を入れたビール瓶かお鍋の底、ともかく熱いものでアイロンをかけるやうにこすれば蠟は内部にまでしみ込んで防水性を與へてくれます

家庭である場合は無論アイロンでやれば結果がよろしい

濕氣で戸障子襖の滑りが惡くキシム時、この場合も蠟をこするとよいのはどなたもご存じですが、これは表面だけですからすぐはげて効がなくなるものです、ところが蠟を **クリーム** 狀態にしておくと、これを敷居や鴨居にこすり込むとしみ込み、永くもてます、又これは木家具に塗り、金屬につけ乾いた布で磨いておきますと家具の防濕、黴防ぎにもなり又金屬のさび止めとして重寶です

初夏　食後の飲物　一家揃つての團欒に是非

季節の飲物を數種御紹介致しませう

（1）夏蜜柑のレモネード　材料夏蜜柑の果汁一杯、蜜汁（水一杯砂糖一の割合）一杯

夏蜜柑の實をばらばらにほぐし水で固く絞つた清潔な布で果汁を絞ります、砂糖と水を等分に入れて火にかけ中火で十分間程沸騰せしめて蜜汁をつくります、火からおろして直ぐ夏蜜柑の絞り汁を入れて混ぜ合します、グラスに湯ざまし又は清水を右の果物蜜汁一に對して三位の割合で合せ入れて供します、夏季は冷たく冷やして出します

（2）夏蜜柑と白葡萄酒入りシロップ　材料夏蜜柑、蜜汁（水一砂糖一）白葡萄酒シロップ五分一位

夏蜜柑は袋皮を去り、中味をばらばらにほぐします、水と砂糖と中火で十分間ほど沸騰せしめて作つた蜜汁を、よくさましてから白葡萄酒を加へます、その中へばらばらにした夏蜜柑を入れ三時間位浸して置きます、蜜汁と夏蜜柑の割合は隨意で宜しい、好みの器に實も蜜汁も共た盛つて供します

（3）ホットオレンヂ　材料、蜜柑の果汁、湯、角砂糖、グラスに角砂糖を入れ蜜汁の絞り汁をグラス四分目のところまで注ぎその上から熱い湯を入れて一杯八分目位にします、溫かいところを供します

蜜汁の果汁と湯の割合は果汁四、湯六の割合が恰度よい味です

（4）アイスオレンヂ　材料、蜜柑の果汁、湯ざまし又は水角、砂糖　グラスに角砂糖二個を入れ、グラス四分目のところまで蜜汁の絞り果汁を注ぎ上から湯ざまし又は清水の氷で冷やしたもの（八分目）としたもの、なほその上に氷片を浮かすこともあります

時事解説　近衞聲明について

▼……日本と支那との問題に關聯して「近衞聲明」といふことが時々言はれてゐます、それは昭和十三年十二月二十二日の聲明を指してゐますが、その要點をこゝに回想して置きませう。

▼……「日滿支三國は東亞新秩序建設を共同の目的として結合し相互に善隣友好、共同防共、經濟提携の實を擧げんとするものである。之が爲には支那は先づ何より舊來の偏狹な觀念を清算して抗日の愚と滿洲國に對する拘泥の情を一擲することが必要である。次に東亞の天地にはコミンテルンの勢力の存在を許すべからざるが故に、日本は日獨伊防共協定の精神に則り日支防共協定の締結を以て日支國交調整上喫緊の要件とするものである。日支經濟關係に付ては日本は何等支那に於いて經濟的獨占を行はんとするものに非ず。又新しき東亞を理解して之に即應して行動せんとする善意の第三國の利益を制限するが如きことを支那に求むるものに非ず、唯あく迄日支の提攜と合作とをして實效あらしめんことを期するものである。即ち日支平等の原則に立ちて支那は帝國臣民に支那内地に於ける居住營業の自由を容認して日支兩國民の經濟的利益を促進し且日支間の歴史的經濟的關係に鑑み、特に北支及内蒙地域に於てはその資源の開發利用上、日本に對して積極的便宜を與ふることを要求するものである」

▼……以上によつて今後の支那の動きも推測出來るわけであります。

兵隊さん（其の十三）

ナナンデ　ヤ　キサマ

ナニ　ホンブカラ　ノミツシカ　ゴクロウ　ゴクロウ

のリユシエール新作

格子なき牢獄

「格子なき牢獄」の名コンビコリンヌ・リユシエールとアニイ・デユコオの兩女優は引續いて同じ監督レオニイド・モギイの監督の下に「格子なき牢獄」に勝るとも劣らぬ佳作「美しき爭ひ」を作つた、カットはそのスチール、右がアニイ・デユコオと左がコリンヌ・リユシエールの何れ劣らぬ美しき爭（?）である、尙「格子なき牢獄」に依つて一躍人氣を一身に集中したコリンヌ・リユシエールは續いて息つぐ間もなく第三回主演映畫としてレオニード・モギイ監督の下にジヤン・ピエル・オーモンと共演して「脱走者」に出演、この映畫は早くも東和商事が獲得し大藏省の許可をまつて輸入することになつてゐる

娯樂

飛躍する滿洲演劇

新綠と、もに大同劇團活潑

演劇に依つて滿系大衆の生活に潤ひを與へ且つ思想の善導、國策の宣傳等に巨きな役割を果してゐる大同劇團の活躍はその後益々活潑となり、第一回ユニツト作品として「王屬官」映畫化するなど映畫の方面にも進出して滿洲演劇界發展の爲に力を盡してゐるが、本年はその創立四周年目に當り更に劃期的な計畫がもくろまれてゐる

幹部俳優日本派遣

ゴーゴリーの名作「檢察官」の上演など

大同劇團

即ち映畫では滿映がさきに滿系助監督の日本派遣を發表、日本映畫界の指導を仰ぐこととなつたが、今度では同劇團の滿系幹部俳優を日本に派遣し、日本演劇界の指導を仰ぐ事に決定、先づそのトップを切つて目下「王屬官」に出演主演中の道剛氏が選ばれる事になつた、派遣先は新築地、文學座と共に日本の代表的新劇團である新協劇團と決定、派遣期日は大體今秋九月頃となるものと見られてゐる、之は滿映の滿系助監督の日本派遣と同じ樣に派遣期間は六ケ月、趙剛氏が歸つてくると次は同劇團の幹部俳優王三一馬雪筠（王屬官の主演女優）涵子の諸氏（嬢）が順々に派遣される事になつてをり、この企畫の發表と共に演員達の

歡び方は

非常なもので、この前途の大きな光明に勵みを與へられて滿洲國演劇の開拓の大きな使命に血を沸かしてゐる、斯くてこの擧によつて幼稚な滿洲演劇界の飛躍的な向上が期されるのみならず日滿演劇界の交流は益す緊密の度を增し、日滿兩國演劇人相互の認識と向上の上に大きな役割を果すものとして期待されてゐる、尙同劇團では此の七月創立四周年を記念して國都に於て不朽の名作ゴーゴリイの「檢察官」を棵本捨三氏が翻案「巡閲使」と

改題して

上演、目下棵本氏は之を舊軍閥時代即ち張學良の惡政が民衆を塗炭の苦しみに陷れた時代に當てはめる爲に目下資料蒐集中であるが之は目下クランク中の「王屬官」の上映と前後して行はれるもので此の公演は大同劇團初の本格的な近代劇名戯曲の翻案であるだけにその成果は各方面から注目を拂はれてゐる、又日本語部創設のために大同劇團入する「素わらじ劇團」の山田隆哉氏等は空前のこの國都住宅難の爲行悩み狀態にあり、大同劇團側では必死になつて住宅探しをしてゐるが、此の難問題が解決しない限りどうなるか危ぶまれてゐる一方劇團幹部森武氏は大同劇團の最も大きな使命としてその勞苦を各方面より讃へられてゐる

移動演劇

隊一行約二十名を率ゐて二十四日約一ケ月の豫定を以て錦州方面農民慰安公演に出發、錦西、興城、義縣、盤山、北鎭、黒山等々に時局下最も意義深い國兵法宣傳劇棵本、藤川兩氏合作の新作劇「新土的健兒」を持つて巡回公演を行ふことゝなつたが殘留組は「王屬官」の撮影をそれまでに終了、移動演劇隊の歸京を俟つて「巡閲使」の公演準備に入る等滿洲國の代表劇團として愈よ多彩活潑な本格的運動に乘り出さんとしてゐる

風車

文話會だか何んだかの主催になつた大連藝術座の歡迎宴の際大連藝術座の「アルルの女」の方が金曜會の公演より優れてゐたなどと言ふ飛んでもないタワゴトが大連藝術座に對する讃辭として呈せられたさうである

どうも眞に困つた世の中で「仲間賞めの良さ」位は知つてゐるが斯うなると「坂本龍馬」の中のセリフぢやないが「物を知らない奴ほど怖しいものはない」と言ふ龍馬の述懐がそのまゝ當てはめられる

更に某紙の言ひ方を逆に皮肉れば「何を觀、何を聽いても、矢鱈に感心し無茶に怒鳴つてゐる手合がある、時候の加減であらう」だが斯う言ふ手合に取つては時候が幾ら良くなつたつて頭の方がはつきりしさうもないから困るんである

大連藝術座の中で一番良かつたのは何んだ、それはリーフレットだけだ、兎に角是等の怖るべき物識り共が文化の第一線に立つ我こそはインテリ也などと自稱してゐるのだから全く以て滿洲國の首府新京とは怖い所であると今にして知る

"アルルの女"の名譽のために

文化映畫

◇十字屋の二新作　十字屋文化映畫部は「とり貝」及び「纖維」の新作二篇を完成

「ワイズミユラー」の快泳」日本版

日本映畫社では米チユ・ウオールド社製作チヤドルス・マイヤース監督、ジョニー・ワイズミユラー主演の興味深いスポーツ短篇「ワイズミユラーの快泳」日本版を提供する

◇「落下傘」製作　大日本文化映畫製作所では、落下傘の性能を紹介する文化映畫「落下傘」（パラシユート）を陸軍航空本部指導、松村清四郎監督、今村秀夫撮影で製作と決定

戰地通信

細川俊夫

北滿にも初夏が訪れました暖い日はのんびりして樂しいですが急に雪が降つたりするのでかなひません、渡滿以來毎日の演習で色は眞黒、目方も七キロ增えて身體だけは立派な兵隊です

◈

驅足の時には昔學生時代にやつたマラソンが役に立つて何時も先頭です、北滿の夏は雪割草、鈴蘭その他あらゆる花が咲き亂れてとても綺麗ださうです

◈

内地では皆樣いかがですか、大船の連中からの便りで映畫界の好況は伺つてをります、ます〳〵諸君の御奮闘を樂しみに僕も頑張ります【寫眞は田川二等兵の細川】

ラヂオ　けふの番組

朝

六、〇〇（新京）建國體操
六、一八（大連）入港船のお知らせ
六、二〇（東京）ニユース
六、三〇（大連）中等滿洲語講座　秩父岡太郎
六、五九（東京）時報
七、〇一（奉天）天氣豫報（新京）朝の修養　滿人の修養　馬韓標
七、二〇（新京）レコード（管絃樂）歌劇ファウストの劫罰より　一、ハンガリー行進曲　二、妖精の踊り　三、鬼火のミヌエット（ベルリオーズ作曲）ロンドン・フイルハーモニツク管絃樂團（指揮）ビーチヤム
八、〇〇（新京）建國體操
八、二〇（新京）氣象通報
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東・奉）經濟市況
九、五〇（齊々哈爾）幼兒の時間　オハナシ「金ノオウマ」山本八重子
一〇、〇五（奉天）家庭メモ
一〇、一〇（奉天）料理獻立
一〇、二〇（大連）家庭の時間「簡單に作れる蔬菜の話」大連市公園科　丸山勇二
一〇、四〇（新京）食料品値段
一一、三五（奉天）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

晝

〇、〇一（奉天）經濟市況
〇、〇五（新京）土曜コンサート（一）ヴアイオリン獨奏　一、G線上のアリア（バッハ作曲）二、メヌエット（ベートーヴエン作曲）（二）ソプラノ獨唱　一、晝林　古溪作詞、弘田龍太郎作曲　二、砂丘の上　室生犀星作詞、小松耕輔作曲　三、かやの木山　北原白秋作詞、山田耕作作曲（三）ヴアイオリン獨奏　一、インドの哀想曲　ドヴオルザーク（作曲）クライスラー（編曲）二、ガボット（ゴセック作曲）（ヴアイオリン）吉田敏夫（ソプラノ）内藤花子（ピアノ伴奏）和泉初音
〇、三〇（東・新）ニユース
〇、五〇（東京）野球試合實況（ニユース、經濟市況、氣象通報中斷）東京大學野球聯盟春季試合　明治大學對立教大學‖第二回戰早稻田大學對法政大學‖第二回戰
一、〇五（東京）經濟市況
二、五五（新京）氣象通報
三、〇〇（東京）婦人の時間（野球無き場合）時局社會見學「子供をよくする學校の生活」‖東京市萩山實務學校にて‖
三、二九（新京）國内アナウンス　北米西部向海外放送
三、三〇（新京）一、アナウンス　二、國民歌謠　伴奏CYアンサンブル（一）遠藤保子（イ）春待草　福田澁子作詞、長谷川良夫作曲（ロ）村の乙女　喜志邦三作詞、富永三郎作曲（ハ）愛國の花　福田正夫作詞、古關裕而作曲（二）伊東泉二（イ）勞働讃詠　朝晝島崎藤村作詞、小田進吾作曲（ロ）大日本の歌　芳賀秀次郎作詞、東京音樂學校作曲
四、〇〇（東・新）ニユース

夜

六、〇〇（新京）子供の時間　ラヂオドラマ「中村大尉」佐々木成一・作　新京中央コドモ劇場
六、二〇（新京）コドモの新聞
六、二五（哈爾濱）初等ロシア語講座　櫻木新吾
六、五〇（新京）國民メモ
六、五五（新京）カレントトピックス
七、〇〇（東・新）ニユース
七、〇〇（新京）告知事項、今晩の番組
七、三〇（新京）講演「東亜競技大會滿洲代表出發に當りて」團長　谷次亨
七、四〇（新京）講演「中村、井杉兩烈士遭難十周年に際して」科爾沁右翼後旗參事官　小西京太郎
八、〇〇（大阪）ラヂオドラマ「大楠公」大佛次郎（作）番匠谷英一（脚色）片岡我當、中村福助、坂東簑助、他（演出）JOBK文藝課
八、四五（大阪）錄音「楠公ゆかりの地」杉本アナウンサー
九、〇〇（大阪）浪花節「大石江戸探り」篠田實
九、三九（東京）時報、ニユース、ニユース解說
一〇、三〇（新京）ニユース、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、四〇（哈爾濱）今日の時間（露語）北滿

歌劇"カルメン"

けふ國都に開幕

滿洲最初のオペラ

音樂ファン待望の我等のテナー藤原義江とブルースの女王由利あけみが繰り展げる初夏の豪華音樂陣は滿洲各都市に於て空前の絶讃を博しつゝあり、二十五日土晝夜社員倶樂部に於て行はれる國都公演は文字通り白熱的な人氣に迎へられて音樂ファンを吸收し樣としてゐる、今回は藤原江義のドンホセ、由利あけみのカルメンが日本各都市で公演された此のオペラの扮裝、衣裳そのまゝで二重奏を行ひ、之に哈響の指揮者シユワイコフスキー氏を初め哈響ベストメムバーの贊助出演があり、之のビゼーの不朽の名作カルメンの二重奏が音樂ファンの大きな呼物となつてゐるがシーズンに繰り展げる此の滿洲最初の『オペラの夕』は霽し切つた音樂ファンには干天の慈雨にも等しくファンは公演を待ち構へゐてる

公演曲目

第1部

（A）獨唱
（イ）ラルゴ　ヘンデル
（ロ）東方の唄　リムスキーコルサコフ
（ハ）月の世界　ガルツビ　藤原義江
（B）獨唱
シヤソン、ボビユレール
（イ）愛の言葉を
（ロ）暗い日曜日
（ハ）シボネー　由利あけみ
（C）獨唱
（イ）つはもの、歌　東長三作詞　並作曲
（ロ）滿洲の春　北原白秋作詞　山田耕作作曲
（ハ）討匪行　關東軍作詞　藤原義江作曲
（ニ）ほいかご　貴志康一作詞　同作曲
（休憩）

第2部

（A）ピアノ獨唱　福井文彦
（B）カルメンプレリユード哈爾濱交響樂團指揮　セルゲイシユワイコフスキー
（C）二重唱　新劇カルよメンりビゼー作
カルメン　由利あけみ
ドンホセ　藤原義江
伴奏ハルピン交響樂團
指揮ヒルゲイ、シユワイコフスキー
（寫眞は歌劇カルメンの舞臺）

速報か文化尊重か

ニユース映畫方針迷ふ

内務、文部兩省ではニユース映畫を文化映畫同樣指定上映とすべく條文作成中であるが、これに關聯して新誕生の日本ニユース映畫社と文部當局のニユース映畫製作に對する方針に不一致を來たし成行きを注目されてゐる、即ち日本ニユース映畫社は今後のニユース製作は從來のニユース映畫同樣速報主義で進む事に決定してゐるに對し文部省側では文化映畫的要素を尊重し封切後相當の期間を經過するも尙は價値あるものとなしたい旨の見解を發表した

ニユース指定上映が實施の曉は全國映畫館が悉く上映の運びとなるが、一ニユースが全映畫館に上映濟みとなるには三、四週間を要しその間速報價値を失ふ虞れがあり文部省ではこのため文化映畫的價値を强調しようと云ふのである

轟夕起子さん入京

愈よ今より舞臺に

日活が誇る明眸のスター轟夕起子さんは二十四日一時半あじあにて牧野滿男氏夫妻及び一足先に入京した近く背の君となるマキノ正博氏に迎へられて兩親と共に入京直ちに本社に挨拶があつた、愈よ本日から新キネの舞臺にその美しき姿を現はすことになつてゐる（寫眞は轟夕起子さん）

シナリオ賞制定

◇「シナリオ賞」を制定　日本映畫作家協會は「シナリオ賞」を制定、毎年一回優秀シナリオ・ライター一名に授與されることとなつた賞金は毎年二百圓で、委員長三村伸太郎、副委員長伏見晃、書記長陶山鐵の三氏が具體案協議中

滿映作品

滿系大衆に喰入る

"黎明曙光"の盛況が實證

滿映の大作"黎明曙光"は曩に國都に於ても滿系館に於て封切られ好況を傳へられたが哈爾濱に於て十七日より二十一日までの五日間國泰（二日間）大光明（三日間）兩館に於て封切られその總數約二萬名の入場者を數へ盛況であつた、之により滿映側では滿映作品も滿系大衆に人氣が出て來た證據であり尙今一息の頑ばりだと大喜びである

アトラクションとして季燕芬、季友梅、劉春榮、鄭曉君、郭紹義、葉等が出演

之は來月の長春座封切の折のアトラクションそのまゝであり尙三十日奉天日系館封切の際には二十七日日本を出發する李香蘭のアトラクシヨンが加はることになつてゐる

映畫協會

第二回技能審査

曩に第一回技能審査で監督俳優、カメラマン約三千三百名に技能證明書を發行した大日本映畫協會では、之に次いで第二回審査を本年は八月上旬開催、同下旬に證明書を發行することゝなり、演出並に撮影は七月十五日、演技は同卅一日迄で願書を締切るが現在既に演出、撮影各百五十、演技約百の合計約四百名が申請してゐる

これは第一線に活躍してゐる監督、俳優達は既に第一回審査で合格し内務省へ登錄手續きを了してゐるので、今回の分は新進連ばかりだが、再申請も加へて締切までには相當多數に達するものと見られてゐる、尙技能審査委員は第二回審査開始前に一部更迭並に增員が行はれる筈

文化映畫集團

文化映畫の若い脚本家監督が中心となり文化映畫集團を結成した

事務所は當分東亜發聲内に置き、題材を汎く大衆から求めて、構成された脚本や企畫を各製作會社へ映畫化を委囑するが第一回作「佐田映二脚色「吾輩は馬である」は目下東亜發聲で撮影中

學藝

夢見る頃（七）

岡谷波津子

四人はそれだけではすまなかつた。やはり日が經つにつれて、特別の親しみがまして來た。

或日、美子は「岡田さん貴方が好きなのよ」と、しよげた顔付をした。此の頃美子は本當に岡田が好きになつたかも知れなかつた。

アイ子は、その前の日、岡田の手紙を受取つて、當惑して居た所だつたが、美子のその言葉をきくと「そんな事、嘘」と打消して、その事を言へないでしまつた。

所が、岡田はだん／＼熱心になつて來て、困つた事になつてしまつた。あの彼が、とても謙虚になつて、アイ子には彼の案外善良な好い所が、目につき出した。彼は宗近よりも、ずつと好男子で、散髪のしたてなど首すぢのくつきりした所を美しいと無頓着な彼女に感じさせもした。アイ子はしかし岡田は美子の相手といふ意識がぬけきらず、少し苦しかつた。拒んでも、嫌だとも言へず、又、その裏の事は言ふ勇氣もなく、岡田は、またそれを、唯恥づかしがつてためらつて居ると自惚れて居る。

アイ子は、仕方ない非常手段として、やはり宗近と接近する事にした。宗近は遊ぶのには、固くて、藝術味がなくて、剛情ばりで、あまり分別臭かつた。アイ子を、眞面目な話相手にして、しみ／＼と人生觀や運命論や職業論をした。アイ子もさうした落付いた深い議論は大好きだつたが、好意だけで、彼と結婚するつもりは毛頭なかなかつたし熱情も感じなかつた。彼女はもつと素晴らしい青年と本當の戀愛をしたかつた。

姉から岡田と宗近とどちらと結婚するかなどたゞされて少し悄氣た彼女は、不意に途方もない芝居を思ひつき、宗近が遊びに來ると約束した日、岡田を呼んだ。岡田はすぐやつて來て、いろ／＼話をして居た。故意に愛想のよい彼女の態度にすつかり自信を得たのか、岡田はやがて、いきなり、接吻を許してくれなどと言ひ出して、彼女を抱かうとしたりした。アイ子はあまり巧く運びすぎて度を過したのに腹を立てたりして、本氣に言ひ爭つて居る時、音もなく戸を開いて、宗近が青い顔をして立つて居た。はつとした岡田をぢつと見て、アイ子の顔は見ず宗近は默つて歸つて行つた。アイ子は流石に胸をつかれたが、やがて、岡田も外へ押し出した。後で彼女はこれで全部うまくすんだと思ふと急にお腹が破れるほどをかしくなり、机に顔をうつぶして、こみ上げ／＼笑つた。それは狂暴な笑だつた。それがすぎると、彼女はつき落されたやうな罪悪感におそはれ、うそ／＼と寒い寂寞さで、魂が空虚になるのを感じた。

それから一月後彼女が辯解するのを待つてゐてそれつきり口をきかないまゝ日をすごした宗近は、社をやめて牡丹江へ行つてしまつた（貴女の爲に、何もかも捨てゝ行く）と言ふ手紙を見た時、彼女は、あの剛情で分別臭かつた彼の眞情にうたれ、目が眩むやうな氣がした。後でいろ／＼お詫なんかして來る岡田なんかぶりつとも返事しなくても何でもなかつたのに——。

一週間後、彼女は彼を追つて牡丹江に行つた。彼は彼女を迎へると強く手を握つた。彼女は、唯彼を慰めたくて行つたのだが、うつかり手を握らしたばかりにたうとう結婚を承知しなくてはならなかつた。宗近は面白くはないがいゝ夫だつた。彼女は俄かに奥さんらしくする事を強要されて苦しい努力を拂つた。彼女が大分いゝ妻になつて美子に一度あつた時、美子は「今ビリヤード通ひよ。面白いわ」と言つた。後できくと彼女は光島の妻となつて、パーマネントに赤いリボンをして歩いて居ると言ふ事である。「まあ、男の方がきれいで……」と、同情する人があるさうだが、光島は優しい夫だと言ふ話だつた。（完）

文芸茶話

網野菊の「汽船」「燈火管制」

—（『文藝』六月號）—

「汽船」には內地、內地とさういふ言葉が出て來る。作者も滿洲にゐた人なのだから、朝鮮なのだらうと思へて來るので。

愛の無い夫婦、それを妻の立場から描いてゐる。夫と別れ內地に歸る、その乘車驛で、むかし親しくしてゐた男を見るのである。いかにも女性の作らしいこまかな筆使ひである。

「燈火管制」は「汽船」の續篇のやうなものであるが、夫と別れることを決意するまでの女の氣持の動きが割合鮮かに描き出されてゐる。「そして更にそれらの夜店の前を通ると、夜店の人達がたくみに灯をおほひ、不自由さの中にも尚、出來る限りの力をつくして生計のための商ひを續けようとしてゐる樣子を見て、心をうたれた」といふ一節は立派なものだと思つた。

暗い題材であるが、何かほの／＼とした希望を感じさす、そのやうな作品であつた。（御垣衛士）

「罪と罰」など

柴田貝三

×月×日

午後、遂に長篇全三卷に亘る岩波文庫のドストイエフスキイ「罪と罰」を讀了す。永年の間、讀みたいとは憧れてゐたが、あまりの長篇ゆゑ途中で打捨りはせぬだらうか？といふ疑惧のため眼を通さなかつたのだが、いざ讀み始めるとなると、この作品の持つ異常な熱情に惹かれて到頭讀了することができた。

ドストイエフスキイは四十五歲の時この作に着手し、翌年に脫稿したさうだが、これだけのものをよくかゝる短期間の間に書けたものだ。それといふのも彼が八年といふ間シベリヤの流刑によつて事實苦しみ悶えたからである。自分は、「罪と罰」の主人公ラスコーリニコフの內にドストイエフスキイの脈々たる血の流れてゐることを感じて尊く思つた。卑しい賣春婦であるソーニャが彼に聖書中のラザロの復活を讀み聞かせ、後に神を信ぜよと訴へ罪の汚れを清めるために街の四辻に行つて人々に「私は人を殺しました」と言つて大地に接吻せよとまで叫んだ、その烈々たる炎の如き崇高なる魂。私は強く強く、このソーニャの叫びにラスコーリニコフ同樣打たれた。終局に於いては、曾つて神域をば犯した彼が自から弱い人間として神に縋る。人間が如何に偉大なる天才といへど、人間は人間である。神を犯すことは絕對に許されない、犯すことは不可能なのだ。しかし一度人間が絕望のどん底に突きのめされると、人を呪ひ世を呪ひ最後には神すらも冒瀆しようとする。あゝ恐るべきは暗鬱に蠢めくニヒリストの反抗である。だが彼等の多くをそのやうにするものは果たして何？それは社會である。この點に於いてドストイエフスキイは「罪と罰」中に次の言を述べてゐる。

「犯罪とは社會制度の不備に對する反抗である」さすれば犯罪者は犯罪を自發的に遂行するものではなく、總ての環境によつて確かにさせられるのであることは疑ひない。この場合は後天的犯罪者を主として指してゐるのではあるが、先天的に犯罪素質、つまり遺傳的に見て犯罪型に入るべき者も、環境に刺激されて犯罪を犯すこと少くない。だが犯罪は人類の存在する限り永遠に續行されるのだ。あゝ社會が犯罪といふものを持つがために、如何に醜悪なものであることか、ミルトンのやうに、ウエルズのやうに、理想境と美の世界を求め憧れてゐる人間か、人間であるが故にこの願望を夢としなければならぬとは何たるアイロニイだ。哀れむべきものよ、汝の名は人間なり。小なる人間どもが、いくらこまちやくれた頭で科學だとか文明だとか言つて騒いでみたところでそれは單に巨大な自然の嘲笑と侮蔑とを享けるだけである。しかし人間は敢へてこの自然に血みどろな爭鬪を挑むのである。人間もまた解き難き動物ではある。かくして地球上の動物は勇敢にも宇宙を相手として生きてゐる。これを見れば人間も滿更、見捨てたものでもないやうだ。

×月×日

エドガー・アラン・ポーの代表作「黒猫」「アッシャ家の崩壞」を讀む。ポーの作品には全く鬼氣迫るものがある。不氣味なうちにも文學的香氣が深く包うてゐる。物語風な「黒猫」は讀者をぐん／＼怪奇の中に耽溺せしめ「アッシャ家の崩壞」には蒼白い靈魂がフワ／＼と漂うてゐるやうであつた。後者の書き出しの自然描寫は一字一句この作品の味を寂寥づけ、後に起る事件を巧みに暗示してゐる絕妙の作品である。いつかポーの「大鴉」を映畫で觀たことがあつた。主演はボリス・カーローフであつた。カーローフには持つてこいのものであるだけに、映畫を觀てゐるうちに畫面からしみ出る不氣味な雰圍氣に息苦しく、館を出てからもカーローフのクローズアップが何時までも頭の中に灼きついてゐた。カーローフのものでは「フランケンシュタイン」の花嫁」「ミイラ再生」その他二、三觀たが今は記憶が薄くなつてゐる。

「滿洲生活案內」に付て

——若干の雜感的覺書——（二）

守谷良平

（二）「家と健康」に於て家の大小と死亡率との統計的數字を擧げ、滿洲に於ては一人當り十疊の家に住むことが保健上理想的であるとの臨床實驗例を引用し且つ全滿を通ずる住宅難が勢ひ狹い家に多人數が雜居する傾向を生み不健康に拍車をかける結果を招來してゐることを述べてゐる。

しかし現實に著者が憂ふる日本人の健康生活に重大な危機として迫促しつゝあるこの住宅問題と、それに對する適正なる解決の方途は現實と近き將來に於て打開し得ざる困難な情勢にあり、而もこの困難にして各種の不仕合を誘致頻發しつゝある住宅問題よりする健康衰微の悲劇的生活が滲くとも現實に於て切り開き得る途は兒童及靑年並に成人を通じての衞生的知見の把握、公衆衞生並に一般保健衞生施設の完備、特に冬季に於ける保健衞生機關の確立と積極的な學校又は野外及公開的な體育振興施設の實施徹底が、僅かに現實に殘されたる方途の一つであらうことを筆者は寂しく思ふものである。

（三）に建築材料の素材的解明、（四）に「防寒と保溫」に付ては特に冬季生活に於ける保溫の知識と煖房ペーチカの焚方について濃かな配慮の下に科學的な親切な解答が下されてゐる。更に石炭節約の意義より滿洲民家に付てはグラフが挿入說明され、滿洲の氣候が一ヶ年を通ずる氣象觀測の統計的數字に合せ要領よく述べられてある。

×　×

次に「食物の話」では食品衞生上の注意が紙面全體にあふれ在滿日本人にとり野菜を多量に攝取する必要性と、それに關聯して冬季野菜の缺乏と高價に備へてこれが貯藏の實際的知識が供給され、また生計指數と生活比較表及食糧品の最高價格等の統計的數字を揭げ買物上に於ける在滿日本人の生活費の無駄多き浪費と膨脹に對し無言のいゝ配慮より自覺を促がし、且つ日本人の考へ方が物價の高低にのみ氣をとられ計量に無關心の弊を指摘し、これが計量上の細かな注意が附錄の度量衡（尺斤法－滿洲國制定）メートル法、營造尺庫平制、尺貫法日本制定の比較對照の中に）と共に完全に期されてゐる。

更に「衣服の話」で男子の被服は別として在滿日本婦人の服裝に付て、その不適當と代ふるに滿人服を着用することを强調してゐる。又一般の滿人服裝に次いで毛皮購入時の注意すべき事柄等より總括的に衣服衞生に付て色々の角度より親切な叙述が試みられてゐる。

又「疾病と保健」の一節では、日本人が滿洲に於ける生活において罹患率の高度は日本の習慣をそのまゝ滿洲現地に持ちこんでゐることが原因であるとし、現地に適する生活樣式に無關心であることに深き注意を促がしてゐる。

そして憂慮すべき日本人の健康狀態について統計的數字を以て立證し、滿洲に於ける傳染病、寄生蟲病、風土病等の一々を羅列的に平易に記述し、これが防疫衞生の觀點より臨床醫師に聞くごとき親切なしかも具體的な注意が個々の疾病につき與へられてある。

而し筆者の物足りなく思ふことはさらに如上に添へるに結核に對する豫防防遏の施設、方途及慢性傳染病としての花柳病、トラホーム等は相當高度に蔓延してゐること、更にこれらの花柳病及トラホーム等に付ては政府に於て豫防防遏に關する法規の制定公布並に檢黴の實施及トラホームに付ては學校に於ける無料治療の道を特定學校に於ける無料治療の道を特定學校に於て實施しつゝあるが、近き將來經費を增額し施設の整備を圖ること等に一言ふれられたい。

更に又癩病に對しては現在正確な調査が施されてゐない爲にその數字は擧げられないが、隣國その他より大量の人口移動等に伴ひ、その數字は若干增加の傾向に在るので、滿洲國としては昨年十一月鐵嶺縣第二區松山背に國立癩療養所が設立され患者の收容に遺憾なきを期しつゝある事も略述される事を希望したい。

×　×

「教育と體育」で一應初等中等學校から專門、大學等の名前が簡略に記されてゐるが、今少し滿洲國に於ける新學制實施と實學を基調とし教育施設が整備しつゝある實情を叙述されることが望ましいことである。その爲に今後版を重ねられる時は今一ページぐらゐを教育の分野に割愛されることを希望したい。

中村喜代子女史洋畫展評

二科會の常連作家である中村喜代子女史が石室歌子女史の人形展と一緒に近作洋畫小品展を寶山のギヤラリーで廿二日より廿四日まで催してゐる。

女性が藝術に限らず總ての部門に亘る研究的な道を歩くことは、現在の社會情勢としては、ことに日本では幾多の障害があり、並々ならぬ苦勞がつきまとふものである。かうした少ない茨の研究者には、先づその可憐な華を育てることに世の人々は躊躇してはならないと思ふ。

●會場に一度び足を踏み入れると、石室女史の作品人形が華美な南國の乙女、絢爛な夢の歌姫の如き、あでやかな姿に一驚するが、中村女史の洋畫展も小品とは云へ、それに劣らない色彩的な仕事を、しかも落付いた作畫の跡を示してゐることを吾々は買はなければならない。

作品については概して薄味のマチエールを追及してゐることは直ぐに受け取れるが、色彩的な纖細な神經が餘りに働き過ぎて、畫面上の抑揚が少ない嫌ひは蔽へないだらうか。

ともあれ、畫面を造型化してゐる姿は女性の作品ながら、本格的なものを感じ、また女性のみが成し得られるデリケートな仕事は愛情を以て觀ることが出來る。

中にも女史の意慾が充分に表出した作品を擧げるならば「臺灣の花」「みかん」「いちじくＡＢ」「久遠の花」「果物」「神戸六甲山」「チューリップ」等であるが、女性の追及者をもたない新京での女史の展觀は、何等かの意味にて今後に益することが多いと信じてよいであらう。

畫面のメカニックさ、色彩のプラスチックさは、女史が眞摯にボナールの研究を續けてゐることを吾々に示すものである。（H生）

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△日本兒童文化（二八號）（東京大阪ビル、日本兒童文化協會、五錢）

△日滿機械用語　日滿技術員養成所で編纂した機械用語集である、一〇四六の言葉を日滿兩語で示してある、四六判百頁（京都市上京區廣小路寺町東、立命館出版部一圓）

主婦之友
大評判
六月特大號
五種附錄つき
婦人子供服な斷然日本一!
世界一流の家庭雜誌
大型附錄
夏の流行婦人子供服の作方
浴衣がはりの簡單服がミシンいらずに作れます
第二附錄
ドレスメーカー女學院使用の原型つき割出し法新發表
實物大の原型と型紙つき
第四附錄
流行ハンドバッグと袋物の型紙つき作方
二色特輯
染色と刺繍の夏の衣類と服飾品の作方
第五附錄 六月のお惣菜カレンダー
特輯 健康辨當作り方の十八種
▲經濟的なコマギレ洋食十種
▲馬鈴薯の代用食料理の作方
別册附錄
新式安産育兒全書
橋爪一雄 山縣汎 共著
陸軍病院
病院船續篇 大嶽康子
新支那政府の婦人官吏の座談會
木村名人と徳川夢聲の夫婦圓滿問答
良人の英靈招魂式に參列する記
北米大學卒業第二世娘の座談會
眼で結婚運を占ふ法
特輯 東京 大阪
内職と副業に成功した實驗
增收と利殖の祕訣號
女手一つで二萬圓貯めた利殖法公開
百圓から千圓までの家庭利殖の祕訣
事變經濟から見た家庭の危機
▲痔の健康食療法 ▲新しい洗濯祕訣
▲野菜の多收穫法 ▲肺病の微熱問答
末廣がりの生活 石川武美
懸賞募集
奉頌歌『靖國神社の歌』
英靈奉讃の誠心こめて皆樣奮つて御應募を!
一等 總理大臣賞
後援 陸軍省 海軍省 文部省
新進人氣力士と取組む記
大評判
太陽先生 獅子文六
明朗小說
情感小說 未亡人 吉屋信子
純愛小說 白衣の天使 鈴木彦次郎
銃後小說 少國民 田口きみ子
青春小說 曉の合唱 石坂洋次郎
問題小說 路傍の石 山本有三
歸還兵の感想 中野實
五種附錄つき 七十錢
東京神田 主婦之友社

遺族部隊一行 遺族部隊一行は廿二日アムグロを出發二十四日海拉爾案前の盛儀忠靈塔地鎭祭に參列したが、遺族部隊の一部塚本磯吉氏以下十三名の一行は松本關東軍囑託の案内で午後五時卅分發列車で齊々哈爾の鄕土部隊慰問の途についた【寫眞は[illegible]佛像見學の一行】

學童に軍隊教育
六月から全滿に… 教育司の英斷

躍進滿洲國の新しい出發として全滿民衆の歡呼を浴びて明年度から國兵法が實施されるにあたり民生部教育司では次代滿洲國を背負つて立つ百三十萬學童に軍隊的教育を與へ大いに祖國愛の精神を鼓吹すべく來る六月一日から教育法令を一部修正することゝなつたが、これより國民高等學校（男子）では教練を正科として從來の體育科週二時間を四時間に倍加（實業科において二時間削減）するほか國民高等學校（女子）及び國民學校では強兵は先づ國體的精神の練成と頑健なる身體にありとの建前から體操週二時間を三時間に增加して軍隊教練を加味した集團體操を行ふとともに生徒の負擔を考慮して從來週七時間の算術を一時間削減することゝなつた、かくて青少年達に軍事思想が普及徹底され國家萬代の安泰を生み出すものとしてその效果を期待されてゐる

ゴム靴難解消
學童に切符制實施

小學兒童の必需品たるゴム製運動靴の需給調整のため經濟部ではゴム靴の一手配給會社である生必と協議の上來る六月一日から全滿一齊に切符制を實施することとなつた

これは全滿學童（滿系を含む）運動靴の需給狀態が物品の地方的偏在などのため兎角不圓滑に陥り購入不能の結果童心に惡影響を與へることのない樣にとの經濟部當局の親心から都市別ゴム靴配給組合と小學校當局と連絡の上各小學校をして兒童數に基くゴム靴の年間需給計畫を樹立させこれをゴム靴配給組合に通知し各配給組合を經て生必會社から供給量を確保せんとするものだが兒童は各所屬小學校發給の運動靴配給切符を買ひ隨時最寄り販賣店から購入する仕組である、なほ販賣店には從つて切符引換へ以外は一切販賣せぬから安心して所要の運動靴を入手することが出來るわけで物資需給不圓滑の騷喧しい折柄全滿兒童にとつては欣ばしい朗報と言へよう

"國防化學協會"結成
全滿に呼びかけ
滿洲藥劑師總會に新京から提案

國際情勢の緊迫と國防の重要性が再檢討される時、我等が修得せる專門技術を活用せよと新京藥劑師會では過日の總會で「國防化學協會」を設立することを決定したが、これを全滿に呼びかけることゝなり廿六日午後一時より軍人會館にて開かれる滿洲藥劑師會第四回總會に新京支部議案として提出することにした

同會に於ても當然贊成するものと豫想されてゐるが、設立の曉は國民防空防毒知識の普及、實地訓練等に職能的見地に立脚して化學報國に邁進する

尙滿洲藥劑師總會は會議に先立つて午前衞生技術廠を見學する外午後六時より中央飯店で懇親會を催す

遙かの戰況に若き血は躍る
建大訪問の獨學生代表語る

在京中の獨逸學生代表カール・ツアール、ドクトル・ウヰルヘルム・クラツセン、ドクトル・ハンス・ウツフエンオルデの三君は廿四日午後三時鳶色のナチス學生制服に身をかため打揃つて國都南郊建國大學を訪れた作田副總長、戸張教授等に出迎へられ感激の握手を交した一行は直ちに學生寮、訓練狀況、農學施設等を見學、合圖の大太鼓に興じたり、ドイツ婦人を母にもつ白露學生と歡談したりした後校庭露天の土俵を圍んで學生の紅白角力五人拔きを見物、白軍主將の星野長官の第二世正一君や蒙古學生等の奮戰ぶりには我を忘れて聲援してゐた

歡迎角力終るや突如一學生の音頭で建大生一同はドッと代表三君を取り圍み胴上げの電擊歡迎に移り巨體を宙に放り上げること三度流石の獨逸學生代表もこれには奇聲を揚げて恐悅した、次いで大食堂で日、滿、蒙、露各系學生と卓を圍み講演懇談會を開き青年の若き血に通ふ道義世界建設への希望を語り合つて有意義な交驩を終つた

同大學の一隅でカール・ツアル君に「獨軍ブローニュ進擊」の報をもたらして感想を訊けば流暢な日本語で次のやうに語る

獨逸は戰はねばならなかつたから戰ひ、勝たねばならなかつたから勝つたのです、あの電擊作戰も優秀な武器もすべてヒトラー總統を絶對に信頼して全國一致獨逸再建と世界の不均衡打開のために立ち上つた精神力の所產だと信じます、佛白兩國は僞善的な英國に操られて危機に瀕したもので寧ろ氣の毒だと思つてゐます、とに角勝報を聞く毎に胸が躍り我々のカメラードが祖國の難に奮鬪してゐる時かうして歡迎を受けてゐるのが何んとなく心苦しい氣さへしてゐます【寫眞は角力に見入る獨逸學生一行】

愈よ深刻な住宅難樣相
けさの話題二つ

家を建てろ、人を減らせと名案は幾つあつてもいゝが、それよりもその中のたつた一つでもいゝ實現があつて欲しい……と、これは現に住宅難を直接體驗してゐる人達の切實な叫びであらう、けさの話題にさうした困り切つた人々の住宅難苦行から生れた笑へぬ新風景と店子騷動の二つをおくらう

【その一】

待合室に假寢する若い勤人の群れ
見て見ぬふり取締の手も鈍る

夜の新京驛各等待合室は家なき人々によつて占領され恰も高級簡易ホテルと化し取締に當る新京警護隊員の手を燒かせてゐる、これらの人々は殆んど官吏會社員のインテリで、今迄待合室を塒として居た鮮滿人浮浪者群を締め出し一夜の安息を得てゐるものが多く、何れも住宅難の折柄知人、友人宅や四、五人同居の中へ割り込んでゐるもの、夜ともなれば歸つて行くのが何んとなく氣の毒やら窮屈さから一杯ひつかけた勢ひで寒くなく暑くない誂へ向きな待合室へゴロ寢し、朝になれば其處らの下宿よりマシな洗面の設備があり、構内食堂に入れば容易に腹ごしらへは出來る、おまけに驛の眞ン前からはバスが出るといふこのよきオアシスを傳へ聞いてか午前零時を過ぎる頃にはボツリ〳〵と姿を見せ毎日曉方にはなんと二十人位ゐるといふ話、警護隊員は嘆息を洩らして全く以て同情に堪へないが放つて置くわけにも行かないし、さりとて追つ拂ふこともならずどうしたらいゝか弱つてゐる

【その二】

家は壞される 行き場所はない
賣られた我家 店子連泣込む

大和通一三妓館和順堂裏の滿、住民四十二戸二百餘名の代表十數名は二十三日午後大和通派出所へ 私達は家主から一月の猶豫で立ち退きを強要されたが、早くも買收者側は家の取壞しをはじめましたこれから何處へ行つたら住むことが出來ますかと泣き込んで來たので、同署員は現場へ赴き取調べたところ、該家屋の家主富士町七ノ六糧棧萬增盛こと楊琴堂が去る二十日永樂町三一ノ三川上製作所こと川上嘉一郎へ讓渡したもので楊琴堂は二十一日朝住民に「この家屋は賣拂つたから直ぐ立ち退くよう」通告住民らは移るに家のない現在何處へ行かうと途方に暮れてゐる折、同日午後から買收者使用人筒井光、木下一雄の兩人が主人の云ひつけと稱して破損箇所修理を名目に同長屋を片ッ端しから取壞しはじめたので手も足も出せない住民は靑くなつて訴へに及んだものと判明同署員は落ちつく先のない住民二百餘名を速急に追ひ出すのは穩當でないと新舊兩家主を說諭の上取壞しを一時中止せしめてこの旨本署へ報告した、目下これが圓滿なる解決を圖るべく中央通署保安係で對策を考究してゐる【寫眞は店子泣込みの家】

建築資材 所要報告は早く

住宅難の早急解決と資材不足のヂレンマに喘ぎながらも初夏の國都住宅建築は日日續けられてゐるがこの住宅建築に最も關係の深い資材數量の所要報告が今もつて行はれぬ向もあり關係當局者の惱みに輪をかけてゐるので首警建築工場科では圓滑な資材配給を行つて住宅建築を實現するために市民がこの資材數量の所要報告の眞意を充分理解して一日も早く報告、官民協力一致の實を擧げて欲しいと要望してゐる

通帳制を歪める 惡質のデマ反擊
米配給に不安なし 市公署言明！

六月一日から斷行する米穀通帳制統制配給の實施もいよ〳〵旬日の後に迫つたがこの制度實施を目睫にしてとんでもないデマが巷間に飛んで市民の不安を募らせてゐる

即ち米穀配給組合では米の配給に當り一日に受取る場合は一ヶ月分を、次いで二日目の場合は二十九日分をと時日の經過に隨つて配給分量を減少すると言ふのである

萬一かうした配給方法が實行されるとするならば市民にとつては眞に重大な問題である、是が非でも一日に配給を受けなければならない、隨つてこの日は全市邦人約二萬戸はどつと米屋の門前に押しかけることゝなり、勿論米騷動にも似た物凄い情景が展開されるであらうことを想像慄然たるものがある、言ふべくして斷じて行へないこと、またさうあつてはならないことである、これに對し市當局では

そんな馬鹿なことはありません、月々の配給量は町會組長か家族數に割當て查定の上決定證明するものであつて、證明あるその月の配給量は一日であらうと十五日であらうと當然配給を受けることが出來る

ときつぱり言明、惡質なデマに惑はぬやう市民の一段の協力と自重を要望した

うんと働くよ
新國旗の事務所に林代表の抱負

中央政府樹立により「中華民國駐滿通商代表」と肩書を新たにして二十一日再度新京入りした林耕宇氏は入京以來軍關係、政府筋を歷訪挨拶廻りに忙殺されてゐるが、康德會館内舊臨時維新兩政府通商部の室内模樣換へを終つたので廿四日道路に面した窓ガラス全部に小さい青天白日旗を貼りつけた公署に漸く落着いた林代表事務室は机のうしろの壁にこれは又素晴らしく大きな國旗を張りつけ、故孫文の寫眞と國民政府政綱を掲げてあるが典型的な外交官タイプの明朗な顏に絶えず微笑を浮べた林代表は

私は蘆溝橋事件當時冀察外交委員會委員として死線を乘越えた拭ひ切れぬ思ひ出を持つてをり、その後南京で通商局長をやつてゐた、滿洲には未だ赴任後間がないので多言は憚るが、友人が多いので何かと好都合と思つてゐる、兎に角私を信用して貰ひたい、興亞の聖業へ粉骨邁進する

といつか興奮の色を浮べて語つた、なほ廿五日は朝から弘報協會、國通はじめ弘報關係へ挨拶廻りの豫定である【寫眞は語る代表】

双葉、羽黑とも
滿洲場所には出場
待望の大相撲巡業日程決る

十五日間の幾多熱戰を殘して絢爛たる幕をおろした東京大相撲夏場所終了とゝもに廿四日大日本相撲協會では左の如く滿洲巡業の日程を決定、廿二日神戸出帆、廿五日大連に到着するが一行は双葉、男女の兩橫綱以下全員三百有餘名で東京本場所をそのまゝ移す豪華版であり全滿好角家を喜ばすものと期待される、尙夏場所後半過ぎから休場した双葉山、羽黑山ともこの滿洲場所には出場する豫定である、日程次の如し

六月廿二日神戸出帆、廿五日大連着、廿六日白玉山神社奉納相撲、廿七日より七月三日までの七日間大連で興行、五日より滿洲場所となり五、六日鞍山、七日撫順、十日より十四日まで奉天、十五日より十七日まで哈爾濱、十九日より廿三日まで新京となつてゐるが、この十五日間を通じ最優秀力士には滿洲國カップが贈られることになつてゐる【寫眞は双葉山（上）と羽黑山】

街の八勇士
消火協力者を表彰

新京消防後援會では火災を發見するや逸早く消防署へ急報殊に消防署員と協力危險を省みず消火作業に努力した

新安屯新立街六號山家顯三郎、安達街五〇四號村田政治、南大街二道街七九號劉興運、大馬路三二號小川榮、西五馬路九號矢浪秦之、吉野町二ノ二三西山義彥、中央通二丁目竹内多三郎、三笠町四ノ七池田德永八氏に對し二十四日表彰狀に添へて金一封を贈りその功績を賞した

谷口警務司長寄附 銃後の赤誠を軍人後援會の趣旨にこめて治安部警務司谷口明三氏は廿三日二百圓を滿洲軍人後援會事業資金にと寄附した

鎌田關東軍囑託 豫て新京陸軍病院に入院加療中であつた關東軍司令部主計科附陸軍々屬鎌田久五郎氏は去る二十二日死去した、享年五十一歲、同氏は大正七年、當時の關東都督府當時から奉職勤續實に廿餘年に及び、本年紀元の佳節に當つては梅津關東軍司令官から表彰された精勵恪勤の人でその死去を惜しまれてゐる、なほ告別式は廿五日午後四時から祝町西本願寺で執行されるが遺族は靜子夫人令孃滿子の二人である（自宅は山吹町の陸軍六三號）

交通警官輪禍

廿四日午前十一時半市内南關大馬路で交通整理に從事中の北大街派出所勤務警長劉家棟氏（二六）の背後から交通會社バス十一號線（運轉手市内梅ヶ町四ノ四金洛奎＝三五）が疾走し來り劉警長の左足を車輪にかけ轢き倒した

劉警長は直ちに最寄病院に收容手當中だが全治二週間の打撲傷である

時計盜難

西三馬路三九ノ一公繁寫眞館こと侯友宛さんは二十三日午前零時から同八時三十分までの間に侵入した賊に懷中時計各種七十一個（價格二千圓）を竊取され所轄四道街署へ屆け出た

七分鳩

アルコールがしみて來るとふだんの謹嚴さに似合はず、ニコ〳〵眼を細めて笑ふ顏が惠比壽樣と綽名のある國通編輯局長舛井芳平氏、その無邪氣さは好感をもつて迎へられてゐる

×

たゞ困るのは醉つたら必ず誰でも片ツ端からとッつかまへて顏をなめる、これは可なり有名なもので、被害者（？）も相當多く氏が御機嫌なゝめになるとそら始まるぞと遠くが警戒するが隙を狙つてベロリとやるその機敏さは又格別

×

或時、或ところで年增藝者をベロリとやつたところが突如逆襲、あの頭のテッペンから顏中をなめて〳〵なめまはしまるでナメクジの這つたあとのやうにされ、さすがの惠比壽さん悲鳴をあげ、なるほどなめられるのは厭なものだなア、ゾーッとしたよと云つてたが、それであの癖がなほつたかどうか？である

けふの天氣 南西の風晴後曇
きのふの氣溫 高 二四度五 低 一〇度五

世紀の英雄（56）

番　伸二
夏目醇畫

街の灯はるか（七）

晒し物になつてゐる曲馬團の娘でも見てゐるやうなみじめな氣がして、其處から牧は去らうとした時、丁度美惠子が此方を向いたのだ。

そして入口に立つてゐる牧の姿をみると一瞬困つたやうな顔をしたが、やがてそれが他國の空で知人に會つたやうな助けを求める微笑に變つて行つた。

山中は、

『君、もうあの女子を知つてゐるのかい？』

『いゝや』

『知らない？本當に知らないのかい？すると僕に笑つてゐるのかな。おい本當かい。濟まないな。あのべそをかいたやうな笑ひ方がいいねえ。素晴しく魅力があるよ。きめた。あれにきめた。今年度の超特作はまさ

二人に連絡をつけて考へやうとはせずただ不思議がつてばかり居た。

『一寸、何をみとれてゐるの？』

山中がその聲にびくつ、として振り向くとそこに鐵子が居た。山中は鐵子の新しい戀人であつた。否、幾人かの對照のうちから牧と別れて以來急に淋しくなり引張り出して來た相手である。

『なんだお前か』

『お前ではばかりさま。何をぼんやり見てゐるの。貴方一人ぢやないの。みつともない』

『みつともないのは、そつちだよ。妬くない』

『ちえつ、妬くなんて何年か前の話だわ』

さう言ひ乍ら鐵子は今まで山中のみてゐた詞子を探すやうにちらつ〳〵とそこ

にあの女子だ。あれに限る』と言つて有頂天になつて牧の肩を叩いた。美惠子は牧がにこりともせずこはばつた顔でゐるのを、最初氣がつかないのかと思つてゐたが、やがて意識的に知らぬ顔をしてゐるのだと思ひ出した。

まだ怒つてゐるのだ。かうしてもう來てしまつたものをまだ怒つてゐる。

美惠子は……どう、これならはつきり私の姿が目に映つたでせう――と言はぬばかりに射通すやうな視線を牧に掘ゑた。

すると、牧はその視線をふとよけて廊下にその姿を消してしまつた。

牧の居なくなつてしまつた其處には先程から牧とこそ〳〵自分をみては話してゐる厭な男だけが殘つてゐるので、たまらなく淋しくなり下を向いてしまつた。

山中は牧の急に消えてしまつた態度も少し變だと思つたが、又淋しさうに下を向いてしまつた彼女もをかしいと思つた。それでゐて

ら へ視線を向けるのだ。牧の場合にも鐵子にはこんな事が絶えずあつた。

『牧の好きさうな女子が居るんだよ。それが變なんだ……。今迄一緒に居た牧が急に行つてしまつたんだ』

『お止しよ、餘計なおせつかいするの』

『僕は何もしやしないぢやないか。第一今日來たばかしの女子に何が出來るんだい。とにかく劇場の中でぶら〳〵言ふのはみつともないから止してくれ』

それだけ言ふと山中は鐵子に何も言はれない先きに控室へと行つてしまつた。鐵子はあきらめられないやうな顔で今迄山中の立つて居た所につゝ立つて女達を見てゐた。

美惠子は、これから牧に會ふ度にあんな態度をとられるのだと思ふとたまらなく悲しかつた。やがて舞臺に立つたら矢張りあんな眼でオーケストラボックスから見るであらうか。矢張りあたしは劇場へ來てはいけなかつたのだらうか。

列車發着表

◎大連方面行
△大連行　前二時五十分
△奉天行　六時十五分
△釜山行　八時
△奉天行　八時卅五分
△大連行　九時三十分
△營口行　十時三十分
△四平街行　十一時三十分
△奉天行　後一時五分
△大連行　一時四十分
△大連行　二時三十分
△大連行　三時廿五分
△四平街行　四時五十分
△釜山行　六時五十分
△四平街行　七時四十分
△大連行　九時四十分
△大連行　十一時十三分
△奉天行　十一時三十分

◎哈爾濱方面行
△哈爾濱行　前三時四十三分
△德惠行　五時十五分
△哈爾濱行　六時三十分
△哈爾濱行　八時十分
△哈爾濱行　九時
△哈爾濱行　後十二時五十三分
△哈爾濱行　三時十五分
△哈爾濱行　五時三十分
△德惠行　七時十分
△哈爾濱行　十時卅五分
△牡丹江行　十一時四十五分

◎圖們方面行
△吉林行　前七時五分
△羅津行　八時卅五分
△圖們行　九時四十五分
△吉林行　後一時
△牡丹江行　三時二十分
△吉林行　七時廿五分
△淸津行　十時五分

◎白城子方面行
△白城子行　前八時廿五分
△白城子行　十時五十五分
△前郭旗行　後五時三十分

◎大連方面より
△大連發　前三時卅二分
△大連發　六時十八分
△奉天發　七時四十五分
△大連發　八時
△四平街發　八時四十六分
△四平街發　九時四十分
△四平街發　十時卅二分
△釜山發　十一時四十三分
△奉天發　後三時
△大連發　四時二十分
△大連發　五時二十分
△大連發　六時四十分
△營口發　八時二十分
△奉天發　九時廿五分
△釜山發　九時四十五分
△奉天發　十一時三十分

◎哈爾濱方面より
△德惠發　前零時三十分
△哈爾濱發　二時二十分
△牡丹江發　六時四十分
△哈爾濱發　七時五十分
△德惠發　十一時三十分
△哈爾濱發　後十二時五十分
△哈爾濱發　一時三十分
△哈爾濱發　三時十分
△哈爾濱發　六時四十分
△哈爾濱發　九時三十分
△哈爾濱發　十一時三分

◎圖們方面より
△淸津發　前七時十三分
△吉林發　十一時廿四分
△牡丹江發　後二時十分
△吉林發　五時廿一分
△圖們發　八時四十分
△羅津發　九時三十分
△吉林發　十一時十五分

◎白城子方面より
△前郭旗發　十二時一分
△白城子發　後六時卅二分
△白城子發　九時五分

大阪商船出帆

りおでじやねろ丸　五月二十五日
吉林丸　五月廿五日
扶桑丸　五月廿六日
甦らる丸　五月廿八日
黑龍丸　五月三十日
熱河丸　六月一日
らぷらた丸　六月三日
うすりい丸　六月　六日
門司、神戸行
（午前十一時大連出帆）
三角、鹿兒島那覇行
大同丸　五月廿四日
午後三時大連發
事務所＝大連、奉天、新京
哈爾濱、驛とビューロー
で連絡切符發賣

廣告の御用は
電話（3）三三〇〇